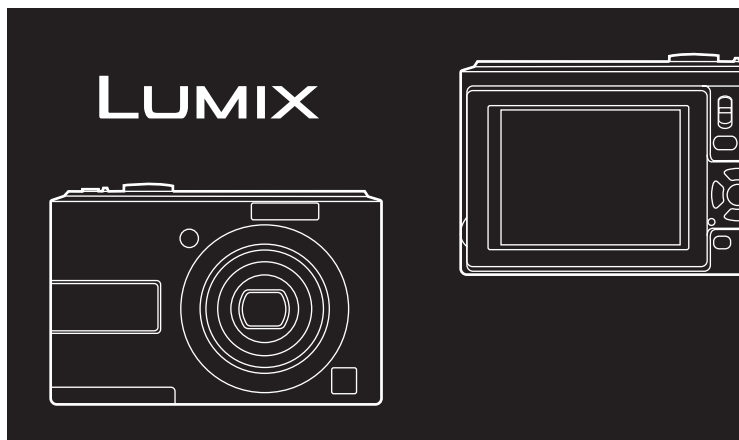
Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番　DMC-LS85

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（6 ～ 9 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

VQT1X04-1

安全上のご注意

はじめに

準備

基本

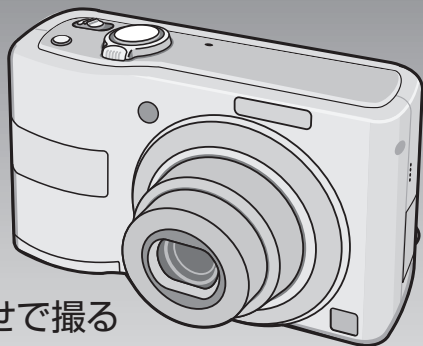
応用・撮影

応用・再生

他の機器との接続

その他Q&A

大切な瞬間を 楽しくカンタンに 撮る・

撮る P26

おまかせで撮る
(P26)
カメラが自動でシーンを判別
「インテリジェントオートモード」

ズームで撮る
(P31)
遠くのものも大きく
「光学4倍ズーム」など

動画を撮る
(P49)

各機器にSDカードスロットがある場合は、
カードを直接スロットへ!

- SDメモリーカード (別売)
  SDHCメモリーカード (別売)

・ SDHCカードは、SDHCカード対応機器でのみ使用できます。

ルミックス

見る・残す LUMIX

見る

- テレビの大画面で再生

  （SDカード）（AVケーブル）

残す

- ご家庭のプリンターで手軽にプリント

  （SDカード）（USB接続ケーブル）
- お店でカードを渡してプリント
- 画像に日付を入れてプリント（P79）

パソコンで 活かす、残す！ P74

付属のソフトウェア
「PHOTOfunSTUDIO」を使って

- 画像を保存、加工、管理

  （SDカード）（USB接続ケーブル）

さらに・・・

- ハードディスク・DVDレコーダーで保存 （SDカード）

・詳しくは、それぞれの機器の説明書をお読みください。

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください。（6 ～ 9 ページ）

応用・再生

他の機器との接続

その他・Q & A

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電池を取り出す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体が破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱･分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新･旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

⚠警告

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。
- 本体には、金属部があります。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。
- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

火災・感電・ショートの原因になります。
- 内部には、電圧の高い部分があります。

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。
- 粉じんの発生する場所でも使わない

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離（数cm）で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、電池を取り出す

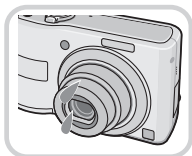
電池を入れたまま放置すると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

- **落下などによる強い振動や衝撃を与えないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニターが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。また、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。**
- **本機は防水構造ではありません。万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。**

■ つゆつきについて（レンズがくもるとき）…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

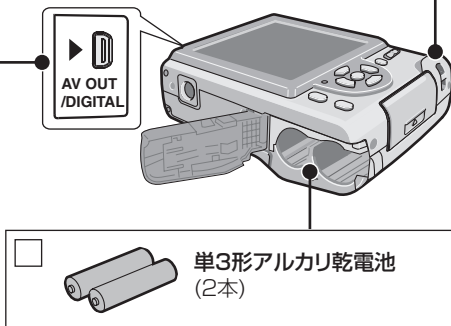
■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

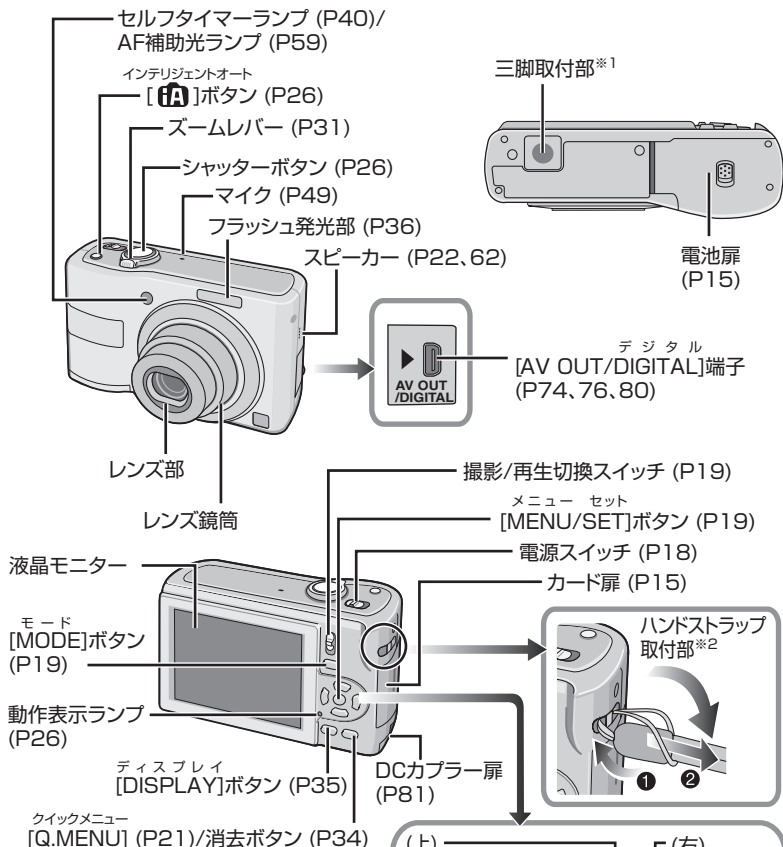
■「 使用上のお願い 」も、あわせてお読みください。（P92）

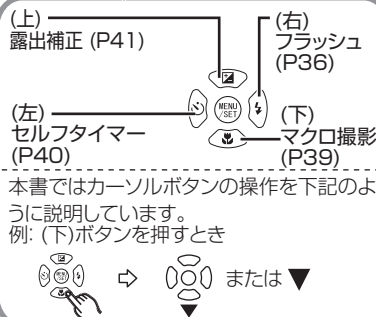
付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は 2009 年 2 月現在のものです。

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については 81 ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

はじめに

各部の名前

※1 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

※2 **落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付けてご使用ください。**

電池について（記録可能枚数）

さらに詳しくは「使用上のお願い」の「電池について」をお読みください。（P93）

■ 本機で使用できる電池

単3形アルカリ乾電池（付属）	単3形充電式ニッケル水素電池（別売）

- エボルタもご使用いただけます。
- 以下の電池はおすすめできません。
  マンガン乾電池 / リチウム電池 / ニッケル乾電池 / ニカド電池 / オキシライド乾電池
  これらの電池では、液もれや、電池残量の誤表示、電源が入らない、内蔵メモリーやカードのデータが破壊されるなどが生じる場合があります。
- 以下の電池は使用しないでください。
  被覆がはがれている / ⊖ 極が平らになっている

■ 電池残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。
[AC アダプター（別売）（P81）につないで使用するときは表示されません]

- 電池残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。（液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します。）新しい電池と交換してください。

■ 電池寿命について

付属の電池または別売の Panasonic アルカリ乾電池		
記録可能枚数	約 270 枚	条件は CIPA 規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約 135 分	

満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売：HHR-3XPS）		
記録可能枚数	約 550 枚	条件は CIPA 規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約 275 分	

CIPA 規格による撮影条件

- CIPA は、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度 23 ℃ / 湿度 50%、液晶モニターを点灯※
- 当社製の SD メモリーカード（32 MB）使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正 [AUTO] 使用）
- 30 秒間隔で 1 回撮影、フラッシュを 2 回に 1 回フル発光
- 撮影ごとに、T 端→ W 端または W 端→ T 端にズームを動かす
- 10 枚撮影ごとに電源を切り、電池の温度が下がるまで放置

※ [オートパワー LCD]、[パワー LCD] または [ハイアングル] 時（P22）は記録可能枚数が減少します。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば 2 分に 1 回撮影した場合は、上記（30 秒に 1 回撮影）の枚数の約 1/4 になります]

はじめに
準備

電池について（記録可能枚数）（つづき）

低温時の記録可能枚数（温度 0 ℃）

付属の電池または別売の Panasonic アルカリ乾電池		
記録可能枚数	約 50 枚	条件は CIPA 規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約 25 分	

満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売：HHR-3XPS）		
記録可能枚数	約 420 枚	条件は CIPA 規格で通常撮影モード時
撮影使用時間	約 210 分	

● アルカリ乾電池は、低温時に著しく性能が低下しますので、お気をつけください。

再生時間

付属の電池または別売の Panasonic アルカリ乾電池	
再生時間	約 420 分

満充電された Panasonic ニッケル水素電池（別売：HHR-3XPS）	
再生時間	約 610 分

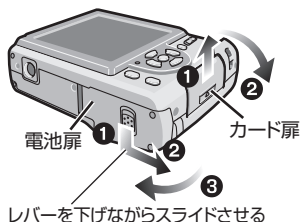
お知らせ

● 記録可能枚数、撮影使用時間および再生時間は、電池の保存状態や使用条件、銘柄、種類によって変わります。
● 電池を長持ちさせるため、エコモード（P23）を使用したり、撮影の合間は電源をこまめに切ることをおすすめします。長時間使用するときは、ニッケル水素電池の使用をおすすめします。

電池 / カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- **使用できる電池は、単 3 形アルカリ乾電池または単 3 形充電式ニッケル水素電池です。****（P13）**
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

1 電池扉 / カード扉を開く

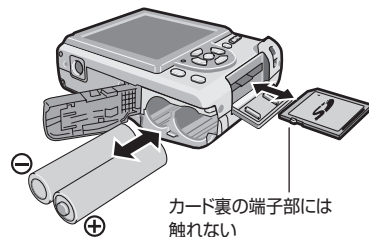
- 右図 ❶、❷、❸ の順に行ってください。

2 電池：

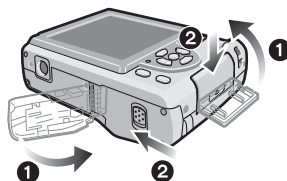
⊕ ⊖ の向きに気をつけて、奥まで入れる

カード：

向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる

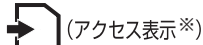
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 電池扉 / カード扉を閉じる

- 右図 ❶、❷ の順に行ってください。
- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

お知らせ

- 電池やカードの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります。
- 使用後は、電池を取り出しておいてください。ただし、使用直後の電池は高温になっている場合があります。電源を [OFF] にして、電池の温度が下がるのを待ってから取り出してください。
- 電池を交換するときは、２本とも同種類の新しい電池に交換してください。

内蔵メモリー / カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合：内蔵メモリーで画像の記録・再生**
- **カードを挿入している場合：カードで画像の記録・再生**

内蔵メモリーの場合
IN　→IN（アクセス表示※）
カードの場合
→（アクセス表示※）
※ アクセス表示は赤く点灯します。

内蔵メモリー

- **容量：約 50 MB**
- **記録できる動画：QVGA（320 × 240 画素）のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- 記録した画像はカードにコピーすることができます。（P73）
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機では、以下のカードが使用できます。（本書では、これらをカードと記載しています）

カードの種類	特徴
SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） （SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマット済み）	● 記録 / 読み出し速度が速い。 ● 書き込み禁止スイッチが付いています。（スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。） 書き込み禁止スイッチ
SDHC メモリーカード **（4 GB ～ 32 GB）※** （SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマット済み）	
マルチメディアカード	● 静止画のみ対応。
miniSD カード	● 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。（アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、カードを入れてお使いください。）
microSD カード /microSDHC カード	

※ 2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
※ SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください）
- 4 GB 以上のカードは SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

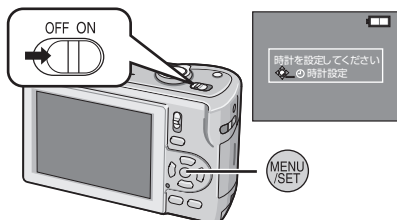
お知らせ

- **アクセス表示点灯中 [画像の読み出しや消去、フォーマット(P25)中など] は、電源を切ったり、電池やカード、AC アダプター（別売）（P81）を取り外さないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。**
  カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P25）

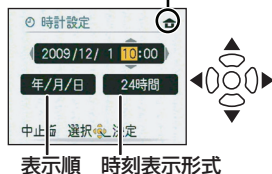
時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源を [ON] にする

- 「時計を設定してください」が表示されます。（再生モード時は表示されません。）

2 [MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ で合わせたい項目（年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式）を選び、▲/▼ で設定する

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  （例；2009 年 12 月 1 日 10 時 00 分）
  ・[年 / 月 / 日]：2009/12/1 10:00
  ・[日 / 月 / 年]：10:00 1/DEC/2009
  ・[月 / 日 / 年]：10:00 DEC/1/2009
- 時刻表示形式は [24 時間] または [AM/PM] から選択します。
- [AM/PM] 表示に切り換えた場合は、AM/PM が表示されます。
- 時刻表示形式を [AM/PM] に設定すると、午前 0:00 は AM12:00、午後 0:00 は PM12:00 で表示されます。この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。
- [🗑] を押すと時計を設定せずに中止します。

4 [MENU/SET] を押して決定する

- 時計設定終了後、一度電源を [OFF] にしてから撮影モードで [ON] にして、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの [時計設定] を選び、▶ を押してください。（P22）

- 上記の手順 **3**、**4** の操作で変更できます。
- 電池を挿入して約 3 時間経過すると、電池を取り出しても約 3 ヶ月は時計設定を記憶しています。

お知らせ

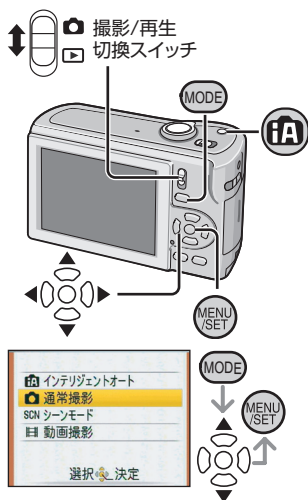
- 撮影時に [DISPLAY] を数回押すと、時計が表示されます。
- 年は 2000 年から 2099 年まで設定できます。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み（P66）を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

モードとメニューの基本操作

モード

各種撮影モードや再生モードを選びます。

1 撮影 / 再生切換スイッチを 📷（上）または ▶（下）に切り換える

📷：撮影モード
▶：再生モード

2 [MODE] を押して、モード選択画面を表示させる

（例：通常撮影モード時）

3 ▲/▼ でモードを選び、[MENU/SET] を押して決定する

各モードの操作については、それぞれの該当ページをお読みください。

撮影モード	
iA インテリジェントオート	P26
カメラまかせで撮影します。 **インテリジェントオートは、[iA] を押すことで直接選ぶことができます。**	
📷 通常撮影	P29
お好みの設定で撮影できます。	
SCN シーンモード	P42
撮影シーンに合わせた撮影ができます。	
動画撮影	P49
音声付き動画を撮影します。	

再生モード	
▶ 通常再生	P32
画像を普通に表示します。	
スライドショー	P60
画像を連続再生します。	
★ お気に入り再生	P61
お気に入りに設定した画像を表示します。 • お気に入りを設定していないと表示されません。	

準備

モードとメニューの基本操作（つづき）

メニュー

好みの撮影や再生ができるようにしたり、本機をより使いやすくするためのメニューが用意されています。モードにより、メニューの内容は異なります。

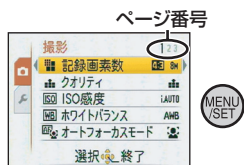
撮影モード時		再生モード時	
撮影メニュー	P54 ～ 59	再生メニュー	P63 ～ 73
● 色合いや感度、画素数などをお好みで設定できます。		● 画像の保護、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対して設定ができます。	

セットアップメニュー	P22 ～ 25
● 時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 ● [セットアップメニュー] は [撮影モード]、[再生モード] のどちらからでも設定できます。	

■ 基本操作

1 [MENU/SET] を押して、メニューを表示させる

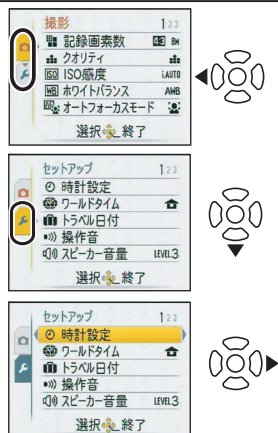
（例：通常撮影モード時）

● ズームレバーを回すと、ページ単位でメニュー画面を切り換えることができます。

セットアップメニューとの切り換え

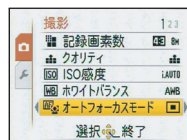
1 ◀ を押す

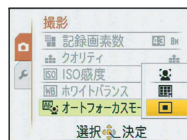
2 ▼ でセットアップメニューアイコン [ ] を選ぶ

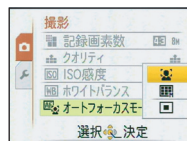
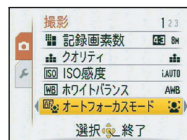
3 ▶ を押す

● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

2 ▲/▼ で項目を選ぶ

（例：オートフォーカスモード）

● 一番下の項目を選んで、さらに ▼ を押すと、2 画面目に移ります。

3 ▶ を押す

● 項目によっては、設定が表示されないものや、設定の表示のされかたが異なるものがあります。

4 ▲/▼ で設定を選ぶ

（例：[顔認識アイコン] 顔認識）

5 [MENU/SET] を押して決定する

6 [MENU/SET] を押して、メニューを終了する

お知らせ

本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

● モードによっては、設定できない項目もあります。

● [手ブレ補正] を選択しているときに [DISPLAY] を押すと、[手ブレ・動き検出デモ] を表示することができます。

1 撮影状態で、クイックメニューが表示されるまで [Q.MENU] を押したままにする

設定する項目と設定内容が表示されます。

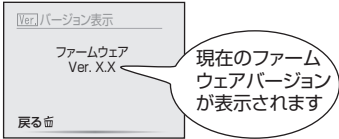
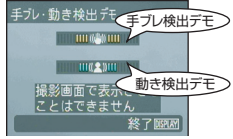
2 ▲/▼/◀/▶ で項目と設定内容を選び、[MENU/SET] を押して終了する

セットアップメニューを使う

必要に応じて設定してください。

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー] は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

● インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[操作音] のみ設定できます。

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
時計設定 日付や時刻を変更するとき設定します。	● 詳しくは、18 ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。	[旅行先]：旅行先の地域 ▶ [ホーム]：お住まいの地域 ● 詳しくは、53 ページをお読みください。
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定します。	[トラベル日付設定]： ▶ [OFF] [設定] [旅行先]： ▶ [OFF] [設定] ● 詳しくは、51 ページをお読みください。
操作音 操作音の音量を設定します。	[ ]：なし ▶ [ ]：小 [ ]：大
スピーカー音量 スピーカーの音量を 7 段階に調整します。	▶ [LEVEL3] ● テレビと接続したとき、テレビのスピーカーの音量は変わりません。
LCD モード 高い位置から撮影するときや、屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	▶ [OFF]： [(オートパワー LCD)]：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [(パワー LCD)]：液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [(ハイアングル)]：高い位置から撮影するときに見やすくします。 ● [ハイアングル] は、電源が切れると（パワーセーブを含む）解除されます。

セットアップメニューの設定方法は 20 ページへ

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ</th></tr>
<tr><td>LCD LCD モード
（つづき）</td><td>● 液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
● [パワー LCD] の液晶モニターの画面は、撮影時、30 秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。
● 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。
● [オートパワー LCD]、[パワー LCD] または [ハイアングル] 時は記録可能枚数が減少します。
● 再生モードでは、[オートパワー LCD] または [ハイアングル] は選択できません。</td></tr>
<tr><td>表示サイズ

画面のアイコンを拡大して見やすくします。</td><td>▶ [標準]
[大]

● 詳しくは、35 ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>ECO エコモード

設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。
また、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、バッテリーの消耗を防ぎます。</td><td>[パワーセーブ]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。
[OFF]
[2 分]
▶ [5 分]
[10 分]

[自動液晶 OFF]：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に液晶モニターを消灯します。
▶ [OFF]
[15 秒]
[30 秒]

● [パワーセーブ] を解除するには、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
● インテリジェントオートモード時は、[パワーセーブ] は [5 分] に固定されます。
● [自動液晶 OFF] を [15 秒] または [30 秒] に設定すると [パワーセーブ] は [2 分] に固定されます。
● 液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
● メニュー操作や再生ズームなどの操作中は、[自動液晶 OFF] は働きません。</td></tr>
</table>

セットアップメニューを使う（つづき）

項目	設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ
ECO エコモード（つづき）	● 以下の場合、[パワーセーブ] は働きません。 ・AC アダプター使用時、パソコンまたはプリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー時、自動デモ ● 以下の場合、[自動液晶 OFF] は働きません。 ・AC アダプター使用時、パソコンまたはプリンター接続時、セルフタイマー設定時、動画撮影時、メニュー画面表示中、自動デモ
オートレビュー 撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	**[OFF]** **[1 秒]** ▶ **[2 秒]** **[ホールド]**：ボタンを押すまで表示 **[ズーム]**：1 秒表示後 4 倍拡大で 1 秒表示 ● [連写] およびシーンモードの [自分撮り]、[高速連写] 時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。（拡大はされません） ● インテリジェントオートモード時は [2 秒] に固定されます。 ● 動画撮影モードでは働きません。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定** **セットアップ設定** ● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの [回転表示] は [ON]、[お気に入り] は [OFF] になります。 ・シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]、[ペット] の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付] の設定内容（出発日、帰着日、旅行先） ・[ワールドタイム] の設定内容 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
ビデオ出力 各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。（再生モードのみ）	▶ **[NTSC]**：日本やアメリカなど **[PAL]**：ヨーロッパなど ● AV ケーブル接続時に働きます。
TV 画面タイプ テレビの種類に合わせて設定します。（再生モードのみ）	▶ [16:9]：画面が 16:9 のテレビと接続時 [4:3]：画面が 4:3 のテレビと接続時 ● AV ケーブル接続時に働きます。

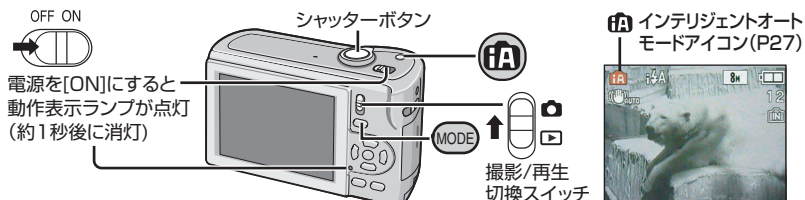
セットアップメニューの設定方法は 20 ページへ

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ</th></tr>
<tr><td>Ver. バージョン表示
本体のファームウェアバージョンを確認できます。</td><td>Ver. バージョン表示
ファームウェア
Ver. X.X
戻る
現在のファームウェアバージョンが表示されます</td></tr>
<tr><td>フォーマット
内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（初期化）します。
フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。</td><td>● フォーマットするときは、十分に容量がある電池または AC アダプター（別売）（P81）を使用し、フォーマット中は電源を [OFF] にしないでください。
● カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。
● 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。
● カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。
● フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DEMO デモモード
[手ブレ・動き検出デモ] や本機の特長を表示します。</td><td>[手ブレ・動き検出デモ]
手ブレ・動き検出デモ
手ブレ検出デモ
動き検出デモ
撮影画面で表示することはできません
終了 DISPLAY
[自動デモ]：本機の特長をスライドショーで表示します。
[OFF]
▶ [ON]</td></tr>
<tr><td>● 再生モード時に [手ブレ・動き検出デモ] は表示できません。
● [手ブレ・動き検出デモ] を終了するには、[DISPLAY] を押してください。
● [自動デモ] を終了するには、何か本体のボタン（[MENU/SET] など）を押してください。
● [手ブレ・動き検出デモ] は目安です。
● 自動デモはテレビ出力されません。</td></tr>
</table>

カメラにおまかせで撮る（iA インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、初心者やカメラまかせで気軽に撮りたいときにおすすめです。

● 以下の機能が自動的に働きます。
　・自動シーン判別 / 手ブレ補正 / 顔認識 / 逆光補正

1 撮影 / 再生切換スイッチを [📷] にし、[MODE] を押す

2 ▲/▼ で [インテリジェントオート] を選び、[MENU/SET] を押す

● 撮影 / 再生切換スイッチが撮影側のときに [iA] を押すと、すぐにインテリジェントオートモードに切り換えることができます。もう一度 [iA] を押すと、切り換える前のモードに戻ります。

3 両手で軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

4 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

● ピントの合せかたは 29 ページをお読みください。
● ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
● 顔認識機能により、顔に合わせて AF エリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところに AF エリアが表示されます。
● ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞です。
● ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。

5 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

● 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P16）が赤く点灯します。

■ ズームを使って撮影するときは（P31）

■ フラッシュを使って撮影するときは（P36）

お知らせ

- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部や AF 補助光ランプを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが 2 秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

[iA] →

i 人物	
i 風景	
i マクロ	
i 夜景 & 人物	・[⚡A] 選択時のみ
i 夜景	・[⊛] 選択時のみ

- どのシーンにもあてはまらない場合は [iA] になり、標準的な設定を行います。
- [ ] と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大 8 秒となります。撮影中そのままカメラを動かさないようにお気をつけください。

■ 顔認識について

[ ]、[ ] のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。（P56）

お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  ・被写体条件
  顔の明暗 / 被写体の大きさ / 被写体までの距離 / 被写体の濃淡 / 被写体が動いている場合 / ズーム倍率
  ・撮影条件
  夕暮れ / 朝焼け / 低照度 / 手ブレが発生した場合
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。

■ 逆光補正について

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき被写体が暗く写りますが、カメラが自動で画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。

基本

カメラにおまかせで撮る（iA インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：iA

フラッシュについて

- [⚡A] 選択時は、被写体の種類や明るさに応じて [i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎] になります。
- [i⚡A◎] または [i⚡S◎] 時は、フラッシュが 2 回発光します。

インテリジェントオートモード時の設定内容

- 以下の機能のみ設定できます。

  撮影メニュー

  ・[記録画素数] ※（P54）/[連写]（P57）/[カラーモード] ※（P58）

  ※ 他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。

  セットアップメニュー

  ・[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]
- 以下の設定項目は固定されます。

項目	設定内容
エコモード（パワーセーブ）（P23）	5 分
オートレビュー（P24）	2 秒
フラッシュ（P36）	オート / ⊗
クオリティ（P54）	☗
ISO 感度（P55）	i.AUTO
ホワイトバランス（P55）	AWB
オートフォーカスモード（P56）	☻（顔が認識されないときは [▦]）
手ブレ補正（P58）	AUTO
AF 補助光（P59）	ON
セルフタイマー（P40）	10 秒 /OFF
撮影可能範囲	ピントが合う範囲はマクロ撮影（P39）と同じになります。[5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞] ● ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。

- 以下の機能は使えません。

  ・自動液晶 OFF / 露出補正 /[デジタルズーム]
- セットアップメニューのその他の項目は、通常撮影モードなどで設定することができます。設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

お好みの設定で撮る（📷 通常撮影モード）

撮影モード：📷

インテリジェントオートモード（P26）で撮影するときよりも、多彩なメニューを設定し、さらに自由な撮影をすることができます。

1 撮影 / 再生切換スイッチを [📷] にし、[MODE] を押す

2 ▲/▼ で [通常撮影] を選び、[MENU/SET] を押す

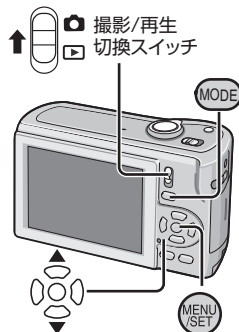
- 撮影時の設定を変更したいときは、54 ページの「撮影メニューを使う」をお読みください。

3 ピントを合わせたい位置に AF エリアを合わせる

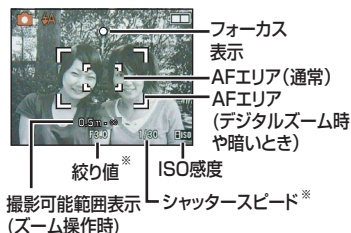
4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ピントが合う範囲は 50 cm 〜∞です。
- さらに近づいて撮影するときは、39 ページの「近づいて撮る（マクロ撮影）」をお読みください。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P16）が赤く点灯します。

■ 画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには（P41）

■ 画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには（P55）

ピントの合わせかた

被写体を AF エリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする。

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AF エリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

※ 適正露出にならないときは、赤くなります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

基本

お好みの設定で撮る（通常撮影モード）（つづき）

撮影モード：

ピントが合わないとき（被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど）

1　被写体に AF エリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
2　**シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

● 手順 1 の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。（P56）

■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

● 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの。
● ガラス越しや光るものの近くを撮影するとき。
● 暗いときや手ブレしているとき。
● 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき。（撮影可能範囲表示が赤く表示されます。）

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示 [ ] が表示されたときは、手ブレ補正（P58）、三脚、セルフタイマー（P40）などをお使いください。
● 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
・赤目軽減スローシンクロ
・シーンモードの [夜景 & 人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]

縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。（[回転表示]（P69）を [ON] に設定している場合のみ）
● 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
● 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

ズームを使って撮る

撮影モード: iA 📷 SCN 🎞（iA 時はデジタルズーム設定不可 ）

光学ズーム /EX 光学ズーム（EZ）/ デジタルズームで撮る

風景などを広く（広角）撮ったり人や物を大きく（望遠）撮ることができます。さらに大きく撮るには、5M 以下の記録画素数に設定してください。また、撮影メニューで [デジタルズーム] を [ON] に設定すると、より拡大が可能になります。

大きく撮るには（望遠）
ズームレバーを T 側へ回す

広く撮るには（広角）
ズームレバーを W 側へ回す

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX 光学ズーム（EZ）	デジタルズーム
最大倍率	4 倍	6.4 倍※	25.5 倍 (EX 光学ズーム 6.4 倍含む)
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	なし	EZ 付きの記録画素数（P54）を選ぶ	撮影メニューの [デジタルズーム]（P58）を [ON] に設定する
画面表示	W T1X	EZ W T1X EZを表示	デジタルズーム領域を表示 W T1X EZ W T1X

● **ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.5m ー∞)**

※ 記録画素数により変わります。

EX 光学ズームの仕組み

例えば（[3M] 300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ 8M（810 万画素相当）の領域のうち、3M（300 万画素相当）分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

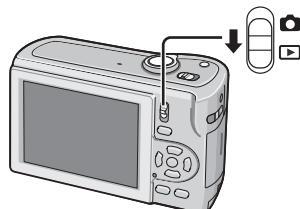
お知らせ

● ズーム倍率は目安です。
● EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
● 電源 [ON] 時は W 端です。
● ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
● ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
● デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
● デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P40）を使って撮影することをおすすめします。
● 以下の場合、EX 光学ズームは使えません。
・シーンモードの [高感度]、[高速連写]
・動画撮影モード
● 以下の場合、デジタルズームは使えません。
・シーンモードの [スポーツ]、[赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2]、[ペット]、[高感度]、[高速連写]
・[ISO 感度] の [i.AUTO] 設定時

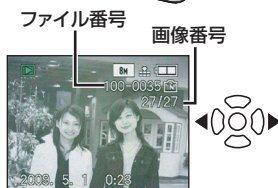
画像を見る（通常再生）

再生モード：[▶]

1 撮影 / 再生切換スイッチを [▶] にする

- 以下の場合は自動的に通常再生になります。
  - ・撮影モードから再生モードに切り換えたとき
  - ・撮影/再生切換スイッチが [▶] 時に、電源を [ON] にしたとき

2 ◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。

■ 早送り / 早戻しをするには

再生中に ◀/▶ を押したままにする

- ファイル番号と画像番号のみが 1 枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。
- 押したままにし続けると、送る枚数が増加します。

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを [⊞]（W）側に回す

1 画面 ⇒ 12 画面 ⇒ 30 画面 ⇒ カレンダー検索（P63）

- ズームレバーを [Q]（T）側に回すと、1 つ前に戻ります。
- 回転表示はされません。

■ 1 画面表示に戻すには

1　▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ
- 撮影画像や設定によって、アイコンが表示されます。

2　[MENU/SET] を押す
- 選択されていた画像が表示されます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

ズームレバーを [Q]（T）側に回す

1 倍⇒ 2 倍 ⇒ 4 倍 ⇒ 8 倍 ⇒ 16 倍

- 拡大したあと、ズームレバーを [▦] (W) 側に回すと、倍率が小さくなります。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、▲/▼/◀/▶ で拡大部分の位置を移動させることができます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。

お知らせ

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- 他機で撮影した音声付静止画は、本機では音声を再生できません。
- 動画再生時は再生ズームは使えません。

画像を消去する

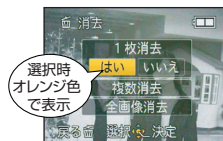
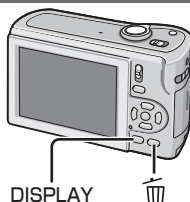
再生モード：▶ ★

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

● 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1 枚消去

1 **消去する画像を選び、[🗑] を押す**

2 **◀で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す**

複数（50 枚まで）/ 全画像消去

1 **[🗑] を押す**

2 **▲/▼ で [複数消去] または [全画像消去] を選び、[MENU/SET] を押す**

● [全画像消去] →手順 5 へ

3 **▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISPLAY] で設定する**（繰り返す）

● 設定した画像に [🗑] が表示されます。もう一度 [DISPLAY] を押すと設定が解除されます。

4 **[MENU/SET] を押す**

5 **▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す**

■ [お気に入り]（P70）設定時に [全画像消去] を選んだときは

再度、選択画面が表示されます。[全画像消去] または [★ 以外全消去] を選び、▲ で [はい] を選んで画像を消去してください。（[★ お気に入り] 設定した画像がない場合は、[★ 以外全消去] を選択できません）

お知らせ

● 消去中（[🗑] 表示中）は電源を [OFF] にしないでください。また、十分に残量のある電池または AC アダプター（別売）（P81）を使用してください。

● [複数消去]、[全画像消去] または [★ 以外全消去] 中に [MENU/SET] を押すと、途中で消去が中止されます。

● 消去枚数により、時間がかかることがあります。

● DCF 規格外または [プロテクト] 設定された画像の場合は、[全画像消去] または [★ 以外全消去] をしても消去されません。

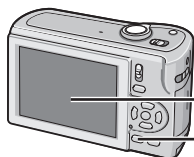
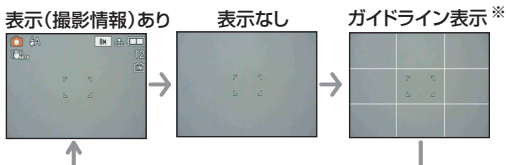
液晶モニターの表示を切り換える / 拡大する

表示を切り換える

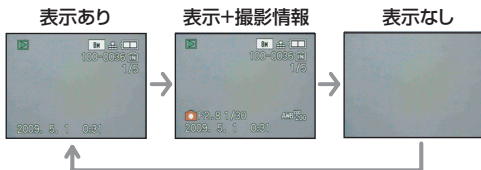
[DISPLAY] を押す

● メニュー画面表示時は [DISPLAY] は働きません。再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

表示(撮影情報)あり　→　表示なし　→　ガイドライン表示※

※ 被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

再生時

表示あり　→　表示+撮影情報　→　表示なし

お知らせ

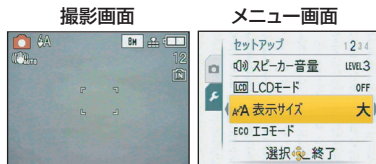
● シーンモードの [夜景 & 人物]、[夜景]、[星空]、[花火] では、ガイドラインはグレーで表示されます。

表示を拡大する

セットアップメニューの [表示サイズ] で [大] を選ぶ（P23）

（P23）

● 撮影画面では、撮影モードのアイコンが拡大されます。

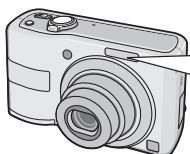
● メニュー画面では、選択した項目が拡大表示されます。

撮影画面　メニュー画面

基本

応用・撮影

フラッシュを使って撮る

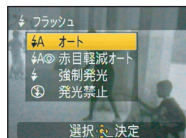
撮影モード：iA 📷 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶（⚡）を押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

- ▶（⚡）でも選ぶことができます。
- 選択できるフラッシュ設定については、37 ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。

3 [MENU/SET] を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
⚡A：オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◎： 赤目軽減オート※ （白色）	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● 暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
⚡：強制発光 ⚡◎：赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。 ● シーンモードの [パーティー]、[キャンドル] 時のみ、[⚡◎] になります。
⚡S◎： 赤目軽減スローシンクロ※ （オレンジ色）	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ● シーンモードの [夜景 & 人物]、[パーティー]、[キャンドル] 時のみ、[⚡S◎] になります。
⊘：発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

※フラッシュが 2 回発光します。2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。
また、発光する間隔は被写体の明るさによります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○：設定可、×：設定不可、◎：シーンモード初期設定)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	Ⓢ
iA	○※	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	◎	○	○
	×	×	×	○	○	◎

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	Ⓢ
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	○

※ [⚡A] 選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎] になります。
- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を [OFF] にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。

■ ISO 感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO 感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W 端時	T 端時
i.AUTO	約 30 cm ～約 5.9 m	約 50 cm ～約 2.8 m
ISO80	約 30 cm ～約 1.6 m	約 50 cm ～約 0.8 m
ISO100	約 30 cm ～約 1.8 m	約 50 cm ～約 0.8 m
ISO200	約 40 cm ～約 2.6 m	約 50 cm ～約 1.2 m
ISO400	約 60 cm ～約 3.7 m	約 50 cm ～約 1.7 m
ISO800	約 80 cm ～約 5.3 m	約 60 cm ～約 2.5 m
ISO1600	約 1.15 m ～約 7.5 m	約 90 cm ～約 3.5 m

- 撮影モードによって、ピントが合う範囲は異なります。
- ISO 感度 [i.AUTO] 設定時にフラッシュを使用すると、ISO 感度は自動的に最大 [ISO1000] になります。
- W 端付近で至近距離のフラッシュ撮影をすると、撮影した画像の周囲が暗くなる場合があります。少しズームしてから撮影してください。
- シーンモードの [高感度] では、[ISO1600] ～ [ISO6400] の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。
W 端時：約 1.15 m ～約 15 m　T 端時：約 90 cm ～約 7.1 m

フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード：iA 📷 SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/30 ～ 1/2000 秒
⚡A◎	
⚡ ⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1 または 1/8 ～ 1/2000 秒※1
⊘	1 または 1/8 ～ 1/2000 秒※2 1 または 1/4 ～ 1/2000 秒※3

※1 [手ブレ補正] の設定によって変わります。
※2 [i.AUTO] 設定時
※3 シーンモードの [スポーツ]、[赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2]、[ペット]

- ※ 1、2、3 でシャッタースピードが最大 1 秒になるのは、以下の場合です。
  - ･ [手ブレ補正] が [OFF] のとき
  - ･ [手ブレ補正] 設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

お知らせ

- **フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュを充電している間、液晶モニターが消灯し、撮影できません。動作表示ランプが点灯します。**
  電池残量が少ないと、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

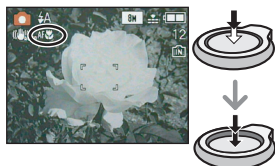
近づいて撮る（マクロ撮影）

撮影モード：

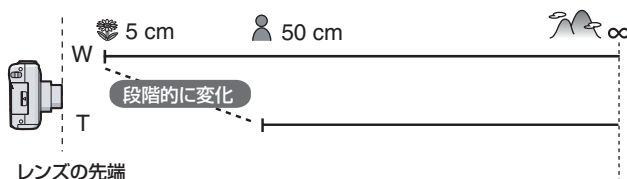
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W 端）にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。

▼（）を押す

● マクロ撮影時には [AF] が表示されます。解除するにはもう一度 ▼() を押してください。

2 撮影する

■ マクロ撮影時のピントの合う範囲（撮影可能範囲）

レンズの先端

お知らせ

● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
● 近距離で撮影する場合は、フラッシュを [ ] にすることをおすすめします。
● 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
● 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
● マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が 50 cm 以上離れている場合は、通常撮影モード時よりピントが合うのに時間がかかります。
● 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

セルフタイマーを使って撮る

撮影モード：iA ◘ SCN

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

1 ◀（Ꮼ）を押す

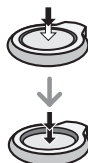
2 ▲/▼ で時間を選ぶ

- ◀（Ꮼ）でも選ぶことができます。

3 [MENU/SET] を押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。
- メニュー画面は約 5 秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に [MENU/SET] を押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

お知らせ

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのために AF 補助光として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [連写] の撮影枚数は、3 枚に固定されます。
- インテリジェントオートモード時は 2 秒に設定できません。
- シーンモードの [自分撮り] 時は 10 秒に設定できません。
- シーンモードの [高速連写] 時は、セルフタイマーの設定はできません。

露出を補正して撮る

撮影モード：📷 SCN 🎞

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

1 ▲（☒）を押して [露出補正] を表示させ、◀/▶で露出を補正する

● 露出を補正しない場合は、“0 EV”を選んでください。

2 [MENU/SET] を押して終了する

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

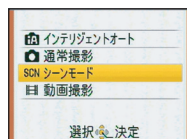
- EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの [星空] では露出補正できません。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN シーンモード）

撮影モード：SCN

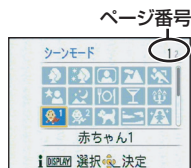
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 撮影 / 再生切換スイッチを [📷] にし、[MODE] を押す

2 ▲/▼ で [シーンモード] を選び、[MENU/SET] を押す

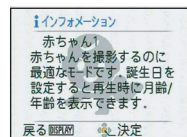
ページ番号

3 ▲/▼/◀/▶ でシーンモードを選ぶ

- ズームレバーを回すと、ページ単位でメニュー画面を切り換えることができます。

4 [MENU/SET] を押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。
- シーンモードによっては設定画面になります。

■ i インフォメーションについて

手順 3 でシーンモードを選んだときに [DISPLAY] を押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。（もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります）

お知らせ

- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET] を押したあとに ▶ を押して、上記手順 3 に戻ります。
- シャッタースピードについては 38 ページをお読みください。
- シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO 感度]、[カラーモード] の設定はできません。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 --- ● [ISO 感度] は [ISO80] に固定されます。 ● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。
美肌 昼間の屋外で、[人物] より肌の表面を特になめらかに撮影できます。（胸から上を撮りたいときに効果的です）	**撮影のテクニック** ● ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 --- ● 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。 ● 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。 ● [ISO 感度] は [ISO80] に固定されます。 ● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。
自分撮り 自分を撮りたいときに合わせてください。	**撮影のテクニック** ● シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。 ● セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。 ● 撮影後は自動的にレビューされます。 ● シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2 秒セルフタイマーの使用をおすすめします。 --- ● ピントが合う範囲は約 30 cm ～約 1.2 m（W 端時）です。 ● [自分撮り] を選択すると、ズームは自動的に W 端の位置へ移動します。 ● セルフタイマーは [OFF] または [2 秒] のみの設定です。[2 秒] に設定すると、電源を [OFF] にするか、シーンモードや撮影モード、再生モードを切り換えるまで、セルフタイマーの [2 秒] 設定は保持されます。 ● [手ブレ補正] は [MODE2] に固定されます。 ● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。
風景 広がりのある風景を撮影できます。	● **フラッシュは [ ] になります。** ● ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

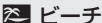
撮影モード：SCN

項目	設定・お知らせ
スポーツ スポーツなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。	● 5 m 以上離れた被写体の撮影に適しています。 ● [i.AUTO] が働き、最高 ISO 感度は [ISO1600] になります。
夜景＆人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。（[ ] に設定できます）** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。 ● ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● ピントが合う範囲は 1.2 m ～ 5 m です。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 ● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● [手ブレ補正] 設定時にブレの量が少ないとき、または [手ブレ補正] が [OFF] のときにシャッタースピードは最大約 8 秒になります。三脚、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● **フラッシュは [ ] になります。** ● ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞]
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● **フラッシュをお使いください。（[ ] または [ ] に設定できます）** ● 三脚、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 ● ズームを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。 ● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">キャンドル
ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。</td><td>撮影のテクニック
● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。
● 三脚、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。</td></tr>
<tr><td>● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。
[5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞]
● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">赤ちゃん 1/
赤ちゃん 2
赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。
[赤ちゃん 1] と [赤ちゃん 2] のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P66）で撮影画像に焼き込むことができます。</td><td>誕生日 / 名前を設定する
1　▲/▼ で [月齢 / 年齢] または [名前] を選び、▶ を押す
2　▲/▼ で [設定] を選び、[MENU/SET] を押す
3　誕生日 / 名前を入力する
誕生日：◀/▶：項目（年月日）選択、
▲/▼：設定、
[MENU/SET]：終了
名前：　文字入力の方法については 64 ページの [タイトル編集] をお読みください。
● 誕生日 / 名前を設定すると、[月齢 / 年齢] または [名前] は自動で [ON] になります。
● 誕生日 / 名前が登録されていない場合に [ON] にすると、自動的に設定画面が表示されます。
4　[MENU/SET] を押して終了する
赤ちゃん1
月齢/年齢　OFF
名前　ON
設定
選択　決定</td></tr>
<tr><td>月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには
「誕生日 / 名前を設定する」の手順 2 で [OFF] に設定してください。</td></tr>
<tr><td>● CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢 / 年齢や名前をプリントすることができます。
● 誕生日や名前を設定していても [月齢 / 年齢] または [名前] を [OFF] にしていると月齢 / 年齢や名前は表示されません。
撮影前に [月齢 / 年齢] または [名前] を [ON] にしてください。
● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。
[5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞]
● [i.AUTO] が働き、最高 ISO 感度は [ISO1600] になります。
● [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2] で起動した場合に約 5 秒間、月齢 / 年齢と名前が現在日時とともに画面の左下に表示されます。
● 月齢 / 年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
● [設定リセット] で誕生日設定と名前設定のリセットができます。
● [オートフォーカスモード] の初期設定は、[ ] になります。</td></tr>
</table>

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

項目	設定・お知らせ
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P66）で撮影画像に焼き込むことができます。	[月齢/年齢]、[名前]については、45ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。 ● [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。 ● [i.AUTO]が働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。 ● [オートフォーカスモード]の初期設定は、[ ]になります。 ● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm（W端時）/50 cm（T端時）〜∞] ● その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	● **フラッシュは[ ]になります。** ● [ISO感度]は[ISO80]に固定されます。
高感度 薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。（高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します）	**記録画素数設定** **▲/▼で記録画素数を選び、[MENU/SET]を押す** ● 記録画素数は[4:3 3M]、[3:2 2.5M]、[16:9 2M]からの選択となります。 高感度 / 記録画素数 / 4:3 3M / 3:2 2.5M / 16:9 2M / 戻る 選択 決定 ● [クオリティ]は自動で[ ]になります。 ● Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm（W端時）/50 cm（T端時）〜∞]
高速連写 高速連写により、すばやい動きや決定的瞬間をねらうのに便利です。	**記録画素数設定** **1 ▲/▼で記録画素数を選び、[MENU/SET]を押す** ● 記録画素数は[4:3 3M]、[3:2 2.5M]、[16:9 2M]からの選択となります。 高速連写 / 記録画素数 / 4:3 3M / 3:2 2.5M / 16:9 2M / 戻る 選択 決定 **2 撮影する** ● シャッターボタンを全押ししている間、静止画を連続して撮影します。 最高連写速度：約4.5コマ/秒 連写枚数：約10枚（内蔵メモリー）、約10枚〜100枚※（カード） ※最大100枚となります。

項目	設定・お知らせ
高速連写 (つづき)	● 連写速度は、撮影条件によって変化します。 ● 連写枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。 ● フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。 --- ● **フラッシュは [ ] になります。** ● [クオリティ] は自動で [ ] になります。 ● L サイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。 ● シャッタースピードは 1/8 ～ 1/2000 秒になります。 ● ピントが合う範囲はマクロ撮影と同じになります。 [5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞] ● ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO 感度は、1 枚目の設定に固定されます。 ● [ISO 感度] は [ISO500] から [ISO800] の間で自動的に調整されます。ただし、シャッタースピードを高速にするため、ISO 感度は高めになります。 ● 高速連写モード時は、通常より電池の消耗が早くなります。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを 15 秒、30 秒、60 秒から選択します。 1 **▲/▼ で秒数を選び、[MENU/SET] を押す** ● クイックメニュー（P21）でも、秒数の変更ができます。 2 **撮影する** ● シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。 カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 ● 撮影中に [MENU/SET] を押すと、撮影が中止されます。 --- **撮影のテクニック** ● 15 秒、30 秒、60 秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。 --- ● **フラッシュは [ ] になります。** ● [手ブレ補正] は [OFF] に固定されます。 ● [ISO 感度] は [ISO80] に固定されます。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンモード）（つづき）

撮影モード：SCN

項目	設定・お知らせ
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ● シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。 ● 被写体までの距離が 10 m 以上のときに最適です。 ● シャッタースピードは以下のようになります。 ・手ブレ補正 [OFF] 設定時：2 秒 ・手ブレ補正 [AUTO]、[MODE1] または [MODE2] 設定時： 1/4 秒または 2 秒（シャッタースピードが 2 秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです） 露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。 ● AF エリアは表示されません。 ● [ISO 感度] は [ISO80] に固定されます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。 ● ぬれた手で触らないでください。 ● 砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	−
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに適しています。	**撮影のテクニック** ● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。 ● **フラッシュは [ ] になります。** ● ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。 ● **離着陸時は電源を [OFF] にしてください。** ● **ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。** ● 窓への写り込みにお気をつけください。

動画を撮る（動画撮影モード）

撮影モード：

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

1 撮影 / 再生切換スイッチを [ ] にし、[MODE] を押す

2 ▲/▼ で [動画撮影] を選び、[MENU/SET] を押す

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

- シャッターボタンを全押ししたあと、すぐに離してください。押したままにすると記録開始時の数秒間、音声が記録されません。
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- ピント･ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。（音声なしで動画を記録することはできません）

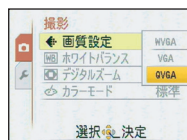
4 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

画質設定を変更する場合

- [画質設定] を [WVGA] または [VGA] に設定する場合、動画撮影時はパッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。

1 [MENU/SET] を押す

2 ▲/▼ で [画質設定] を選び、▶ を押す

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

3 ▲/▼ で設定を選び、[MENU/SET] を押す

設定	記録画素数	コマ数	画像縦横比
WVGA ※	848 × 480 画素	30 コマ / 秒	16:9
VGA ※	640 × 480 画素	30 コマ / 秒	4:3
QVGA	320 × 240 画素	30 コマ / 秒	

※ 内蔵メモリーには記録できません。

4 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

お知らせ

- 記録可能時間については 99 ページをお読みください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。画面には、2 GB で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため、本機で撮影した動画を、2008 年 7 月以前に発売された当社製デジタルカメラ（LUMIX）で再生することはできません。（2008 年 7 月以前に発売された当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影した動画を、本機で再生することは可能です。）
- 動画撮影モードでは、以下の機能が使えません。
  - ・[オートフォーカスモード] の [👥]、[▣]、縦位置検出機能、[手ブレ補正] の [AUTO]、[MODE2]、[OFF]
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- 動画は静止画に比べて画角が狭くなる場合があります。
- フラッシュは [⚡̸] になります。

旅行先で便利な機能（トラベル日付 / ワールドタイム）

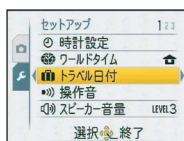
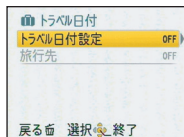
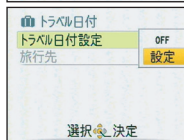
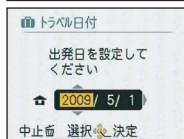
撮影モード : iA 📷 SCN 🎞 （iA 時はトラベル日付設定不可 ）

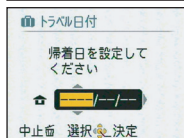
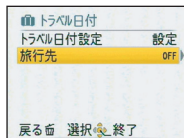
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

旅行の経過日数を記録する（トラベル日付）

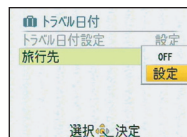
旅行の出発日を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）が記録されます。記録された経過日数は、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P66）で撮影画像に焼き込むことができます。

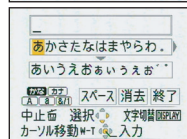
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数をプリントすることができます。
- **あらかじめ [時計設定]（P18）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 **セットアップメニューから [トラベル日付] を選び、▶ を押す（P22）**

2 **▲ で [トラベル日付設定] を選び、▶ を押す**

3 **▼ で [設定] を選び、[MENU/SET] を押す**

4 **▲/▼/◀/▶ で出発日（年月日）を設定し、[MENU/SET] を押す**

5 **▲/▼/◀/▶ で帰着日（年月日）を設定し、[MENU/SET] を押す**

- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で [MENU/SET] を押してください。

6 **▼ で [旅行先] を選び、▶ を押す**

旅行先で便利な機能（トラベル日付 / ワールドタイム）（つづき）

撮影モード : iA SCN （iA 時はトラベル日付設定不可 ）

7 ▼で [設定] を選び、[MENU/SET] を押す

8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、64 ページの [タイトル編集] をお読みください。

9 [MENU/SET] を 2 回押して終了する

10 撮影する

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約 5 秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に [ ] が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順 **3**、**7** の画面で [OFF] を選び、[MENU/SET] を 2 回押してください。
また、手順 **3** で [トラベル日付設定] を [OFF] にした場合は、[旅行先] も自動的に [OFF] になります。

お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- トラベル日付を [OFF] に設定すると、出発日、帰着日を設定していても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を [設定] にしても表示されません。
- 出発日より前は､オレンジ色でー（マイナス）付きで表示され､日付情報は記録されません。
- トラベル日付が白色でー（マイナス）付きで表示される場合は [ホーム] と [旅行先] との間に、日付をまたぐ時差があります。（記録されます）
- [旅行先] で設定したテキストは、撮影後でも [タイトル編集] で変更できます。
- [旅行先] 設定時は、シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]、[ペット] の名前は記録されません。
- 動画撮影の際、[旅行先] は記録できません。

海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● **あらかじめ [時計設定]（P18）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

1 セットアップメニューから [ワールドタイム] を選び、▶ を押す（P22）

● お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[MENU/SET] を押し、手順 3 の画面から設定してください。

2 ▼ で [ホーム]（お住まいの地域）を選び、[MENU/SET] を押す

3 ◀/▶ でお住まいの地域を選んで、[MENU/SET] を押す

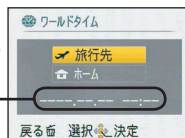
● ホームがサマータイム [☼⊙]（夏時間）を採用している場合は、▲ を押してください。もう一度押すと元に戻ります。
● ホームでサマータイム設定をしたとき、現在の日時は進みません。時計設定を 1 時間進めてください。

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

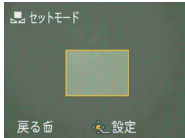
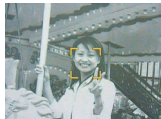
4 ▲ で [旅行先] を選び、[MENU/SET] を押す

5 ◀/▶ で旅行先のあるエリアを選択し、[MENU/SET] で決定する

● 旅行先がサマータイム [☼⊙]（夏時間）を採用している場合は、▲ を押してください。（時計が 1 時間進みます）もう一度 ▲ を押すと元に戻ります。

6 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

お知らせ

● 旅行から戻ったら、手順 1、2、3 の操作をして、設定をホームに戻してください。
● すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。
● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
● 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に [✈] が表示されます。

撮影メニューを使う

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>記録画素数

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。</td><td>使えるモード：iA 📷 SCN

<table>
<tr><th>設定</th><th>記録画素数</th></tr>
<tr><td>4:3 8M (8M)</td><td>3264 × 2448 画素</td></tr>
<tr><td>4:3 5M EZ (5M EZ)</td><td>2560 × 1920 画素</td></tr>
<tr><td>4:3 3M EZ (3M EZ)</td><td>2048 × 1536 画素</td></tr>
<tr><td>3:2 7M (7M)</td><td>3264 × 2176 画素</td></tr>
<tr><td>3:2 2.5M EZ (2.5M EZ) ※</td><td>2048 × 1360 画素</td></tr>
<tr><td>16:9 6M (6M) ※</td><td>3264 × 1840 画素</td></tr>
<tr><td>16:9 2M EZ (2M EZ)</td><td>1920 × 1080 画素</td></tr>
</table>
※ インテリジェントオートモード時は設定できません。
4:3 ： 4:3 のテレビやパソコンと同じ横縦比で撮影できます。
3:2 ： 一般のフィルムカメラと同じ 3:2 の横縦比で撮影できます。
16:9 ： 風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適しています。
<hr>
● EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
● デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。
画素が多い (きめ細かい)
画素が少ない (粗い)
※ 画像は効果を説明するためのイメージです。
● シーンモードの [高感度] または [高速連写] では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。
● 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
● 記録可能枚数については、98 ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>クオリティ

画像を保存するときの圧縮率を設定します。</td><td>使えるモード：📷 SCN

[ファイン] ： ファイン（画質を優先するとき）
[スタンダード] ： スタンダード（標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき）
<hr>
● 記録可能枚数については、98 ページをお読みください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>ISO ISO 感度

光に対する感度（ISO 感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。</td><td>使えるモード：

[i.AUTO]、[80]、[100]、[200]、[400]、[800]、[1600]

<table>
<tr><th>ISO 感度</th><th>80 ⇔ 1600</th><th></th></tr>
<tr><td>撮影場所（おすすめ）</td><td>明るいとき（屋外）</td><td>暗いとき</td></tr>
<tr><td>シャッタースピード</td><td>遅くなる</td><td>速くなる</td></tr>
<tr><td>ノイズ</td><td>少ない</td><td>多い</td></tr>
</table>

● [i.AUTO]：
被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて適した ISO 感度とシャッタースピードを設定します。
● シーンモードの [高感度] では、自動的に [ISO1600] から [ISO6400] の間で変化します。
● ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[カラーモード] を [ナチュラル] にして撮影することをおすすめします。（P58）</td></tr>
<tr><td>WB ホワイトバランス

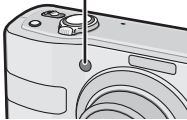
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。</td><td>使えるモード：SCN

[AWB]: 自動調整
[☀]: 晴天の屋外での撮影時
[☁]: 曇りの屋外での撮影時
[⌂]: 屋外の晴天下の日陰での撮影時
[ ]: 白熱灯下での撮影時
[ ]: [SET] で設定した値を使用
[SET]: 手動で設定
● 蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または [SET] をご使用ください。

オートホワイトバランスについて
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB] 以外に設定して調整してください。

</td></tr>
</table>

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
WB ホワイトバランス（つづき）	**手動で設定する** **1 [SET] を選び、[MENU/SET] を押す** **2 白い紙など白いものだけを枠内に写し、[MENU/SET] を押す** **3 設定後、[ ] を選ぶ** ● 電源を [OFF] にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは [AWB] に戻ります） ● 以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。 ・[風景]、[夜景 & 人物]、[夜景]、[料理]、[パーティー]、[キャンドル]、[夕焼け]、[星空]、[花火]、[ビーチ]、[雪]、[空撮]
AF **オートフォーカスモード** 被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。	**使えるモード：SCN** [ ]（顔認識）： 人の顔を自動的に検知します（最大 15 個）。認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。 [ ]（9 点）： 最大 9 点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。 [ ]（1 点）： 中央の AF エリア内にピントを合わせます。 **について** カメラが顔を認識すると以下の色の AF エリア枠が表示されます。 黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。 白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色の AF エリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。 ● 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは [ ] に切り換わります。 ・顔が正面を向いていない / 傾いている / 極端に明るいまたは暗い / サングラスなどで隠れている / 小さく写っている ・顔の陰影が少ない　・動きが速い　・被写体が人物以外 ・手ブレしている　・デジタルズーム使用時

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>オートフォーカスモード（つづき）</td><td>● AF エリアが複数（最大 9 個）点灯した場合は、点灯したすべての AF エリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を [ ] に切り換えてください。
● [ ] に設定している場合は、ピントが合うまで AF エリアは表示されません。
● 人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、オートフォーカスモードを [ ] 以外に設定してください。
● シーンモードの [花火] ではオートフォーカスモードの設定はできません。
● シーンモードの [夜景]、[料理]、[星空]、[空撮] では [ ] に設定できません。</td></tr>
<tr><td>連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
撮影後にお気に入りの画像を選んでください。</td><td>使えるモード： SCN

<table>
<tr><th></th><th></th><th>[OFF]</th><th>（通常）</th><th>（フリー）</th></tr>
<tr><td>連写速度</td><td></td><td>−</td><td>3 コマ / 秒※</td><td>約 2 コマ / 秒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連写枚数</td><td></td><td>−</td><td>最大 4 コマ</td><td rowspan="2">内蔵メモリー / カードの空き容量による</td></tr>
<tr><td></td><td>−</td><td>最大 7 コマ</td></tr>
</table>
※ カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。
● 上記の連写速度は、シャッタースピードが 1/60 秒より速く、フラッシュを発光させないときの値です。

● フリー連写について
・途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化します。
・内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
● ピントは 1 枚目で固定されます。
● [ ] 設定時、1 枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。[ ] 設定時、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
● セルフタイマー使用時の連写設定は、3 枚に固定されます。
● 屋内外など明暗差の大きい場所（風景）で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間がかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。
● 暗いところや ISO 感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ / 秒）が遅くなる場合があります。
● 連写設定は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
● 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
● 連写を設定すると、フラッシュは [ ] になります。
● シーンモードの [高速連写]、[星空] では、連写は使えません。</td></tr>
</table>

撮影メニューを使う（つづき）

項目	設定・お知らせ
デジタルズーム 光学ズーム /EX 光学ズームよりも、さらに拡大することができます。	**使えるモード：** [OFF]、[ON] ● 詳しくは、31 ページをお読みください。 ● ズーム時に手ブレが気になるときは [手ブレ補正] を [AUTO] または [MODE1] に設定することをおすすめします。 ● ISO 感度が [i.AUTO] のときは設定できません。
カラーモード 画像をくっきりしたり、柔らかくする、または セピア色にするなど、色の効果を設定します。	**使えるモード：** **[標準]**： 標準的な設定 **[ナチュラル]**： 柔らかい画像 **[ヴィヴィッド]**： くっきりとした画像 **[白黒]**： 白黒画像 **[セピア]**： セピア色の画像 **[クール]**： 青っぽい画像 **[ウォーム]**： 赤っぽい画像 ● 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になる場合は [ナチュラル] に設定してください。 ● インテリジェントオートモード時は [標準]、[白黒]、[セピア] のみ設定できます。 ● 動画撮影モード時は [ナチュラル]、[ヴィヴィッド] の設定はできません。 ● 各撮影モードで、それぞれ別に設定することができます。
手ブレ補正 撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。	**使えるモード：** [OFF]： [AUTO]： 撮影モードに応じて最適な手ブレ補正をします。 [MODE1]： 撮影モード時、常に手ブレを補正します。 [MODE2]： シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。 ● 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。 ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき ・デジタルズーム領域 ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。 ● シーンモードの [自分撮り] では [MODE2]、[星空] では [OFF] に固定されます。 ● 動画撮影モード時は [MODE1] に固定されます。

撮影メニューの設定方法は 20 ページへ

項目	設定・お知らせ
AF☀ AF 補助光 撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。	**使えるモード：📷 SCN** [OFF]： 点灯しません。 [ON]： 暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。 （大きな AF エリアが表示されます） ● 補助光の有効距離は 1.5 m です。 ● 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所で AF 補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。 ● シーンモードの [自分撮り]、[風景]、[夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮] では、AF 補助光は [OFF] に固定されます。 AF補助光ランプ
🕘 時計設定 年・月・日・時刻を設定、または変更することができます。	セットアップメニューの [時計設定] と同じ機能です。

応用・撮影

画像を順番に再生する（スライドショー）

再生モード：[スライドショーアイコン]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

1 撮影 / 再生切換スイッチを [▶] にし、[MODE] を押す

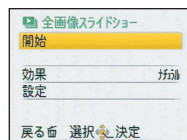
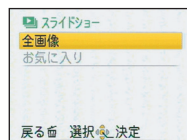
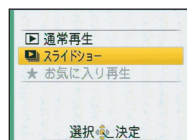
2 ▲/▼ で [スライドショー] を選び、[MENU/SET] を押す

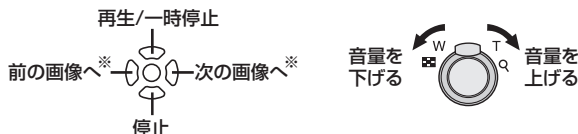
3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す

- [お気に入り] は再生メニューの [お気に入り]（P70）が [ON] で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。

4 ▲ で [開始] を選び、[MENU/SET] を押す

5 ▼ を押してスライドショーを終了する

- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショー中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

※一時停止中のみ操作できます。

・[🗑] を押すとメニュー画面に戻ります。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

全画像スライドショー
開始
効果 ナチュラル
設定
戻る 選択 終了

[効果]
画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。
[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]

● [アーバン] を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。

[設定]
再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音楽]	ON、OFF

● [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ、設定できます。
● [効果] を [OFF] に設定しているときは、[音楽] の設定はできません。

お知らせ

● スライドショーでは動画再生できません。
● 音楽効果を追加することはできません。

画像を選んで再生する（お気に入り再生）

再生モード : ★

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

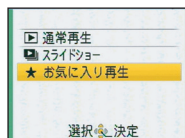
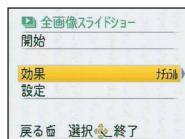
[お気に入り] 設定（P70）した画像を再生することができます。（[お気に入り] が [ON] で設定済みの画像があるときのみ）

1 **撮影 / 再生切換スイッチを [▶] にし、[MODE] を押す**

2 **▲/▼ で [お気に入り再生] を選び、[MENU/SET] を押す**

通常再生
スライドショー
★ お気に入り再生
選択 決定

お知らせ

● 再生メニューは [回転表示]、[プリント設定]、[プロテクト] のみ使えます。

動画を見る

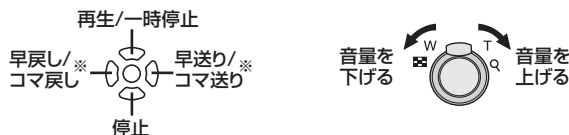
再生モード：▶ ★

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

◀/▶ で動画アイコン（[QVGA] など）が付いた画像を選び、▲ を押して再生する

- 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
  例）1 時間 20 分 30 秒のとき：1h20m30s

■ 動画再生中の操作

再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

※一時停止中のみ操作できます。

お知らせ

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの [スピーカー音量]（P22）をお読みください。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が粗くなったり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

再生メニューを使う

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。
- [文字焼き込み] および [リサイズ] は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

再生メニューの設定方法は 20 ページへ

CAL カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 再生メニューから [カレンダー検索] を選ぶ
- ズームレバーを [■]（W）側に数回回しても、カレンダー検索表示画面にできます。（P32）

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

▲/▼：月を選択
◀/▶：日を選択
- 撮影した画像が 1 枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET] を押して、選択した日付に撮影された画像を表示する
- [🗑] を押すと、カレンダー検索表示画面に戻ります。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す
- 選択されていた画像が表示されます。

お知らせ

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- [時計設定] を行わずに撮影した場合、2009 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：[▶]

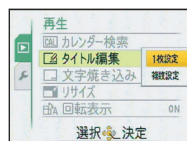
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

タイトル編集

撮影画像に文字（コメント）を登録しておくことができます。登録後、[文字焼き込み]（P66）で撮影画像に焼き込むことができます。（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）

（P66）

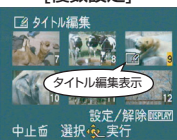
1 再生メニューから [タイトル編集] を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像を選び、[MENU/SET] で設定する

- シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]、[ペット] の名前設定、[トラベル日付] の旅行先設定、[タイトル編集] で、すでに文字が登録されている画像には [ ] が表示されます。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

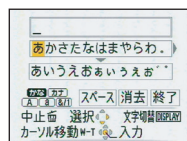
[複数設定] 選択時
[DISPLAY] を押して設定し（繰り返す）、[MENU/SET] を押して決定する

- もう一度 [DISPLAY] を押すと設定が解除されます。

4 ▲/▼/◀/▶ で文字を選び、[MENU/SET] で入力する

- 文字入力例は、次のページをお読みください。
- [DISPLAY] を押すと、[かな]（ひらがな）、[カナ]（カタカナ）、[A]/[a]（アルファベット）、[&/1]（記号 / 数字）に文字を切り替えることができます。
- 入力位置のカーソルは、[ ] で左に、[Q] で右に移動できます。
- 空白を入れたいときは [スペース]、入力した文字を消去したいときは [消去] にカーソルを合わせ、[MENU/SET] を押してください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[ ] を押してください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。

  - [かな]/[カナ]：最大 15 文字
  - [A]/[a]/[&/1]※：最大 30 文字

※ [＼]、[「]、[」]、[･]、[一]、[歳]、[カ]、[月]、[日] は最大 15 文字です。

再生メニューの設定方法は 20 ページへ

5 ▲/▼/◀/▶ で [終了] にカーソルを合わせ、[MENU/SET] を押して入力を終了する

6 [🗑] を押してメニュー画面に戻る※

※ [複数設定] 選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

■ タイトルを消去する

[1 枚設定] 選択時

1 手順 4 ですべての文字を消去して [終了] を選び、[MENU/SET] を押す
2 [🗑] を押す
3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

[複数設定] 選択時

1 手順 4 で文字を入力せずに [終了] を選び、[MENU/SET] を押す
2 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

文字入力例
「パリ」と入力する場合： ❶ [DISPLAY] を押し、カナに切り替える ❷ ◀/▶ で「 ハ 」にカーソルを合わせる ❸ ▼ で下の段に移動し、◀/▶ で「 ハ 」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET] を押す ❹ ◀/▶ で「゜ 」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET] を押し、「 パ 」にする ❺ ▲ を押して上の段に戻り、◀/▶ で「 ラ 」にカーソルを合わせる ❻ ▼ で下の段に移動し、◀/▶ で「 リ 」にカーソルを合わせたあと、[MENU/SET] を押す

お知らせ

- 登録した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]、[ペット] の名前や [トラベル日付] の旅行先も、手順 4 以降の操作で登録できます。
- シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]、[ペット] の名前や [トラベル日付] の旅行先と、[タイトル編集] を同時に登録することはできません。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 50 枚までです。
- 動画、プロテクトされた画像、他機で撮影された画像はタイトル編集できません。

再生メニューを使う（つづき）

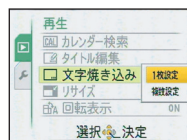
再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、月齢 / 年齢、トラベル日付、タイトルを焼き込むことができます。L サイズでプリントする場合に適しています。（記録画素数が [3M] より大きい画像はリサイズされます）

1 再生メニューから [文字焼き込み] を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像を選び、[MENU/SET] で設定する

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に [ ] が表示されます。

[複数設定] 選択時
[DISPLAY] を押して設定し（繰り返す）、[MENU/SET] を押して決定する

- もう一度 [DISPLAY] を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 ▲/▼/◀/▶ で [撮影日時]、[月齢 / 年齢]、[トラベル日付] または [タイトル] を選び、[MENU/SET] を押してそれぞれの項目を設定する

[撮影日時] 日付：年月日を焼き込みます。 日時：年月日時分を焼き込みます。	**[トラベル日付]** [ON] に設定すると、トラベル日付を焼き込みます。
[月齢 / 年齢]（P45） [ON] に設定すると、月齢 / 年齢を焼き込みます。	**[タイトル]** シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2]、[ペット] の名前設定、[トラベル日付] の旅行先設定、[タイトル編集] で、文字が登録された画像に文字を焼き込みます。

5 [MENU/SET] を押す

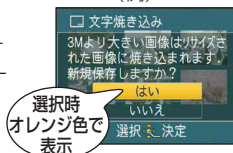
- 記録画素数が [3M] より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  - 8M / 5M→ 3M
  - 7M→ 2.5M
  - 6M → 2M
- 画像は少し粗くなります。

6 ▲で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

- 記録画素数が [3M] 以下で撮影された画像の場合はリサイズされませんので、「新規保存しますか？」のメッセージだけが表示されます。

（例）

文字焼き込み
3Mより大きい画像はリサイズされた画像に焼き込まれます。
新規保存しますか？
はい
いいえ
選択 決定

選択時オレンジ色で表示

7 [🗑] を押してメニュー画面に戻る※

※ [複数設定] 選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。
- [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 50 枚までです。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- [0.3M] の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像

再生メニューを使う（つづき）

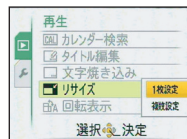
再生モード：[▶]

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

リサイズ　画像サイズ（画素数）を小さくする

画像を E メールに添付したりホームページに使用したりする場合は、[0.3M] にリサイズすることをおすすめします。

1 再生メニューから [リサイズ] を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像、サイズを選ぶ

[1 枚設定] 選択時

1　◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

2　◀/▶ でサイズ※を選び、[MENU/SET] を押す

※リサイズできるサイズのみ表示されます。

1 枚設定

[複数設定] 選択時

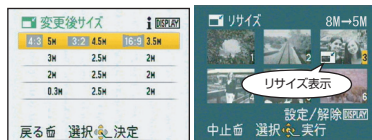
1　▲/▼ でサイズを選び、[MENU/SET] を押す

● [DISPLAY] を押すと、リサイズの説明を表示します。

2　▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISPLAY] を押す

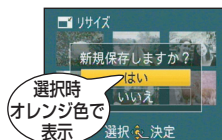
● この手順を繰り返し、[MENU/SET] を押して決定します。

複数設定

4 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

リサイズ
新規保存しますか？
はい
いいえ
選択 決定
選択時オレンジ色で表示

5 [🗑] を押してメニュー画面に戻る※

※ [複数設定] 選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

● [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

お知らせ

● [複数設定] で一度に設定できるのは 50 枚までです。
● リサイズを行うと画質が粗くなります。
● 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。
● 動画または文字焼き込みされた画像はリサイズできません。

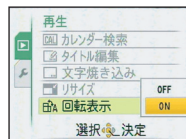
再生メニューの設定方法は 20 ページへ

回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させることができます。

1 再生メニューから [回転表示] を選ぶ

2 ▼で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す

- [OFF] に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、32 ページをお読みください。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

お知らせ

- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 他機で撮影された画像は回転表示できない場合があります。
- マルチ再生またはカレンダー検索時は、回転表示されません。

再生メニューを使う（つづき）

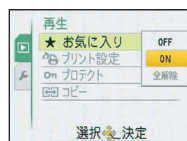
再生モード : ▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

★ お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。（[お気に入り再生]）
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。（[★ 以外全消去]）
- お気に入りに設定した画像をプリントする。

1 再生メニューから [お気に入り] を選ぶ

2 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] を押す
- [OFF] に設定するとお気に入り設定できません。設定済み画像の表示 [★] も表示されません。

3 [MENU/SET] を押してメニューを終了する

4 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定する
- この手順を繰り返します
- もう一度 ▼ を押すと解除されます。

■ [お気に入り] 設定を全解除する

1　手順 2 で [全解除] を選び、[MENU/SET] を押す
2　▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す
3　[MENU/SET] を押してメニューを終了する
- 設定済みの画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

お知らせ

- 999 枚まで設定できます。
- お店にプリントを依頼するときに、[★ 以外全消去]（P34）の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り] 設定ができない場合があります。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。

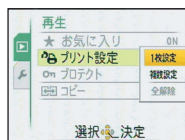
再生メニューの設定方法は 20 ページへ

プリント設定

DPOF※プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー（P73）してからプリント設定してください。

※ DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。

1 再生メニューから [プリント設定] を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像を選び、[MENU/SET] を押す

4 ▲/▼ でプリント枚数を設定し、[MENU/SET] で決定する

- [複数設定] 選択時は、手順 3、4 を繰り返してください。（一括設定することはできません）

[1 枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

5 [🗑] を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

■ [プリント設定] を全解除する

1　手順 2 で [全解除] を選び、[MENU/SET] を押す
2　▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す
3　[MENU/SET] を押してメニューを終了する

- [プリント設定] された画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY] を押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 本機で日付プリントを設定した画像に文字焼き込みを行うと、設定が解除されます。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

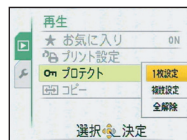
お知らせ

● プリント枚数は 0 ～ 999 枚まで設定できます。
● PictBridge 対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
● 他機のプリント設定は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
● DCF 規格に準拠していないファイルには設定できません。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから [プロテクト] を選ぶ

2 ▲/▼ で [1 枚設定] または [複数設定] を選び、[MENU/SET] を押す

3 画像を選び、[MENU/SET] で設定する

[複数設定] 選択時

● この手順を繰り返します。
● もう一度 [MENU/SET] を押すと設定が解除されます。

[1枚設定]

◀/▶ で選びます。

[複数設定]

▲/▼/◀/▶ で選びます。

4 [🗑] を押してメニュー画面に戻る

● [MENU/SET] を押してメニューを終了します。

■ [プロテクト] 設定を全解除する

1　手順 2 で [全解除] を選び、[MENU/SET] を押す
2　▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す
3　[MENU/SET] を押してメニューを終了する

● 全解除中に [MENU/SET] を押すと、途中で全解除が中止されます。

お知らせ

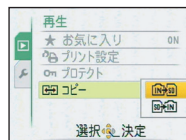
● [プロテクト] 設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
● 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
● 画像をプロテクトしなくても、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

コピー

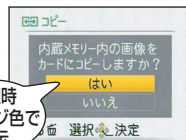
撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから [コピー] を選ぶ

2 ▲/▼ で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET] を押す

[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順 4 へ
[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ 1 枚ずつコピーされます。→手順 3 へ

3 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] で設定する

4 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] を押す

- 内蔵メモリーからカードへのコピー中に [MENU/SET] を押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピー中は電源を [OFF] にしないでください。

5 [🗑] を押してメニュー画面に戻る

- [MENU/SET] を押してメニューを終了します。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーすると、自動的に再生画面に戻ります。

お知らせ

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー（約 50 MB）より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- [IN→SD] 時、コピーする画像と同じ名前（フォルダー番号 / ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN] 時は、同じ名前（フォルダー番号 / ファイル番号）の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。（P75）
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影した画像のみコピーされます。（当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります）
- [プリント設定] はコピーされません。コピー後に設定し直してください。

パソコンと接続する

▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

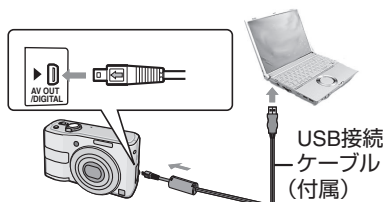
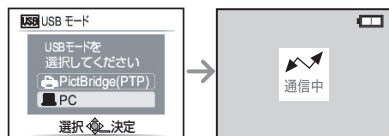
本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

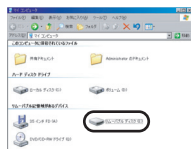
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。
- CD-ROM（付属）のソフトウェアやインストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**および**「付属ソフトについてのお知らせ」**をお読みください。

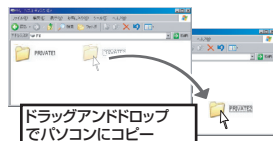
準備：本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。
Windows®98/98SE をご使用の方は、USB ドライバーのインストールを行っておく。

1 USB 接続ケーブル（付属）を本機とパソコンに挿入する

- **付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。**
- USB 接続ケーブル（付属）は、端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります。）

- 十分に容量のある電池または AC アダプター（別売）（P81）を使用してください。電池の使用時、USB 接続中に電池残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。「安全に USB 接続ケーブルを取り外す」（P75）をお読みのうえ、USB 接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

2 ▲/▼ で [PC] を選び、[MENU/SET] を押す

3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- Macintosh の場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます）

4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

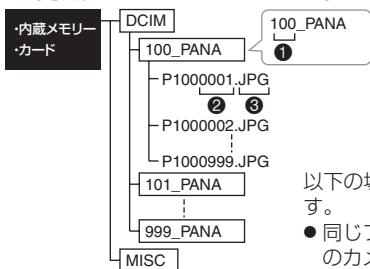
5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

■ 安全に USB 接続ケーブルを取り外す

パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。

- アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに [通信中] が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- 傷がつくおそれがありますので、本機をやわらかい布などの上に置いて、作業することをおすすめします。
- 本機の電源を切ってから AC アダプター（別売）（P81）を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って､USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS X v10.2 以前のときは、SDHC メモリーカードから画像を取り込むときに、SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしてください。

■ 内蔵メモリー / カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG：画像
MOV：動画
MISC：プリント設定
お気に入り

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。

- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合（他社のカメラで撮影した場合など）
- フォルダー内にファイル番号 999 の画像がある場合

■ PTP モードで接続する
（Windows® XP/Windows Vista®/Mac OS X のみ）

USB 接続ケーブルの接続時に [PictBridge（PTP）] を選んでください。
カードからパソコンへの読み込みが可能です。
Windows Vista® の場合は、画像の消去なども行えます。

- PTP モードでカードの中に 1000 枚以上の画像があると､取り込めない場合があります。

SD カードスロット付パソコンまたはカードリーダーを使う場合

パソコンまたはカードリーダーの説明書に従って SD カードを取り付け、74 ページの手順 **3** ～ **5** を行ってください。

- SDHC カードは SDHC 対応のパソコンまたはカードリーダーでなければ使用できません。

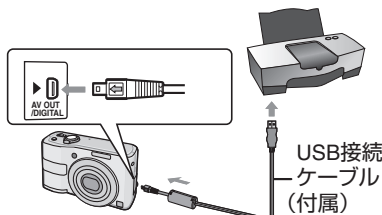
プリントする

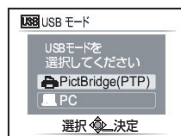
▲/▼/◀/▶ はカーソルボタンの上下左右を表しています

PictBridge に対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

準備： 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB 接続ケーブル（付属）を本機とプリンターに挿入する

- **付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。**
- USB 接続ケーブル（付属）は、端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります。）
- 十分に容量のある電池または AC アダプター（別売）（P81）を使用してください。電池の使用時、USB 接続中に電池残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB 接続ケーブルを抜いてください。

2 ▲/▼ で [PictBridge（PTP）] を選び、[MENU/SET] を押す

USB モード
USBモードを
選択してください
PictBridge(PTP)
PC
選択 決定

お知らせ

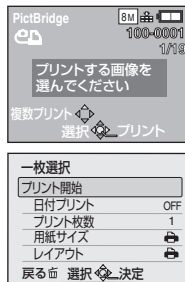
- 傷がつくおそれがありますので、本機をやわらかい布などの上に置いて、作業することをおすすめします。
- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン [ ] が表示されます。[ ] 表示中は、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- 本機の電源を切ってから AC アダプター（別売）（P81）を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 接続中は内蔵メモリー / カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度 USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。

画像を選んで 1 枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] を押す

- メッセージは約 2 秒後に消えます。

2 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] を押す

- プリント開始前に設定できる項目については 77 ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] を押してください。
- プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 **▲ を押す**

2 **▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] を押す**

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい] を選んでプリントしてください。

PictBridge
複数選択
全画像
プリント設定(DPOF)
お気に入り
戻る 選択 決定

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[DISPLAY] を押すとプリントする画像に [🖨] が表示されます。（もう一度 [DISPLAY] を押すと設定が解除されます） ● 選択が終了したら [MENU/SET] を押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定（DPOF）	[プリント設定]（P71）された画像のみをプリントします。
お気に入り※	[お気に入り] 設定（P70）された画像のみをプリントします。

※ [お気に入り] が [ON] で、設定済みの画像があるときのみ

3 **▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] を押す**

- プリント開始前に設定できる項目については下記をお読みください。
- 途中でプリントを中止するには [MENU/SET] を押してください。
- プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。

プリントの各種設定

「画像を選んで 1 枚ずつプリントする」の手順 2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順 3 の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

複数選択
プリント開始
日付プリント OFF
プリント枚数 1
用紙サイズ
レイアウト
戻る 選択 終了

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を [🖨] にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）] 選択時には、[日付プリント] と [プリント枚数] の項目は表示されません。

プリントする（つづき）

日付プリント

項目	設定内容
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされてしまいますので、日付プリントを [OFF] にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大 999 枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
(プリンターアイコン)	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5"×5"	89 mm × 127 mm
2L/5"×7"	127 mm × 178 mm
はがき	100 mm × 148 mm
16：9	101.6 mm × 180.6 mm
A4	210 mm × 297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm × 420 mm
10 × 15 cm	100 mm × 150 mm
4"×6"	101.6 mm × 152.4 mm
8"×10"	203.2 mm × 254 mm
レター	216 mm × 279.4 mm
カード	54 mm × 85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト（本機で設定可能なレイアウト）

項目	設定内容
(プリンターアイコン)	プリンターの設定が優先されます。
(ふちなしアイコン)	1 面ふちなし印刷
(ふちありアイコン)	1 面ふちあり印刷

項目	設定内容
(2面アイコン)	2 面印刷
(4面アイコン)	4 面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1 枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1 枚の用紙に同じ画像を 4 枚印刷する場合、[レイアウト] を [▦]、[プリント枚数] を 4 枚に設定してください。

1 枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1 枚の用紙に異なる画像を 4 枚印刷する場合、[レイアウト] を [▦]、[プリント枚数] を 1 枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の [●] が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み] を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定] のプリント枚数設定時に [DISPLAY] を押すと、押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2] や [ペット] の [月齢 / 年齢] や [名前]、[トラベル日付]、[旅行先] または [タイトル編集] で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

SD カードスロット付プリンターの場合

プリンターの説明書に従って SD カードを取り付け、プリントしてください。

- SDHC カードは SDHC 対応のプリンターでなければ使用できません。

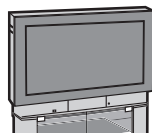
テレビで見る

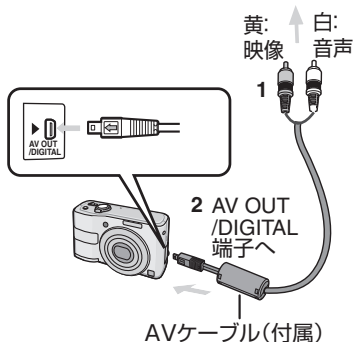
再生モード：▶

AV ケーブル（付属）を使って見る

準備：[TV 画面タイプ] を設定する。
本機の電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

1 **テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブル（付属）を接続する**

- **付属の AV ケーブル以外は使わないでください。**

2 **本機の [AV OUT/DIGITAL] 端子に AV ケーブルを確実に接続する**

- AV ケーブル（付属）は、端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります。）

3 **テレビの電源を入れ、外部入力にする**

4 **本機の電源を [ON] にする**

お知らせ

- [記録画素数] の設定によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。

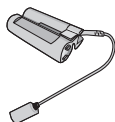
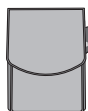
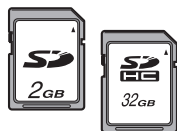
SD カードスロット付テレビで見る

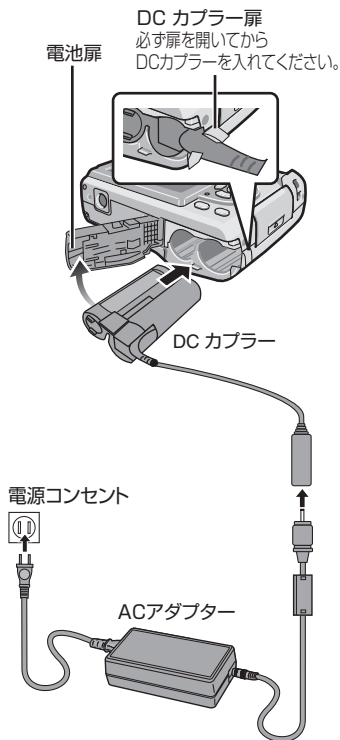
SD カードスロット付テレビに撮影した SD メモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AV ケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHC カードは SDHC カード対応のテレビでなければ再生できません。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

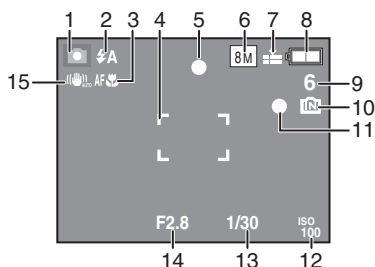
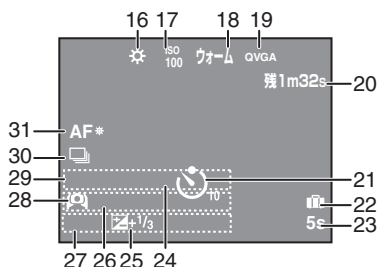
別売品のご紹介

品名： DC カプラー **品番：** DMW-DCC2	
品名： AC アダプター **品番：** DMW-AC6	
● **DC カプラーと AC アダプターは必ずセットでお買い上げください。** 単独では使用できません。	
品名： ソフトケース **品番：** DMW-CLZ10	
品名： SD メモリーカード SDHC メモリーカード	

■DC カプラーおよび AC アダプターを接続する

接続のしかたについては、DC カプラーの説明書もお読みください。

● 電池扉は確実に閉じてください。
● 必ず専用の DC カプラーおよび AC アダプター（左記）を使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になります。

液晶モニターの表示

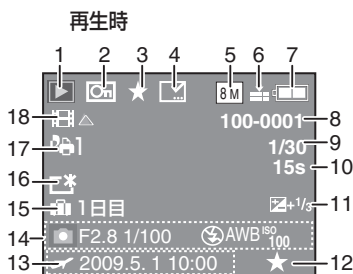
液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

通常撮影モード [ ] 時（お買い上げ時）

撮影時 (各種設定後)

■ 撮影時

1　撮影モード（P19）
2　フラッシュモード（P36）
3　マクロ撮影（P39）
4　AF エリア（P26、29）
5　フォーカス（P26、29）
6　記録画素数（P54）
7　クオリティ（P54）
8　電池残量（P13）
9　記録可能枚数（P98）
10　内蔵メモリー（P16）
　　カード（P16）：（記録時のみ表示）
11　記録動作
12　ISO 感度（P29、55）
13　シャッタースピード（P29）
14　絞り値（P29）
15　手ブレ補正（P58）
　　手ブレ警告（P30）：
16　ホワイトバランス（P55）
17　ISO 感度（P29、55）
18　カラーモード（P58）
19　画質設定（P49）
20　記録可能時間（P49）：
　　XXhXXmXXs
21　セルフタイマーモード（P40）
22　トラベル日付（P51）
23　記録経過時間（P49）
24　名前※1（P45）
25　露出補正（P41）
26　月齢 / 年齢※1（P45）
27　現在日時 / 旅行先設定（P53）※2：
　　ズーム /EX 光学ズーム（P31）/
　　デジタルズーム（P31、58）：
　　EZ W T 1X
28　パワー LCD モード（P22）：
　　オートパワー LCD モード（P22）：
　　ハイアングルモード（P22）：
29　トラベル経過日数（P51）
30　連写（P57）
　　音声記録（P49）：
31　AF 補助光（P59）

※1　シーンモードの [赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2] や [ペット] で起動した場合に約 5 秒間表示されます。

※2　起動時 / 時計設定後 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

再生時

■再生時

1　再生モード（P19）
2　プロテクト（P72）
3　お気に入り表示（P70）
4　文字焼き込み済み表示（P66）
5　記録画素数（P54）
　　画質設定（P49）
6　クオリティ（P54）
7　電池残量（P13）
8　フォルダー・ファイル番号（P75）
　　内蔵メモリー（P16）
　　再生経過時間（P62）：XXhXXmXXs
9　画像番号 / トータル枚数
10　動画記録時間（P62）：XXhXXmXXs
11　露出補正（P41）
12　お気に入り設定（P70）
13　撮影日時 / 旅行先設定（P53）
　　名前（P45）
　　タイトル（P64）
14　撮影情報
　　月齢 / 年齢（P45）
15　トラベル経過日数（P51）
16　LCD モード（P22）
17　プリント枚数（P71）
18　動画再生（P62）
　　ケーブル切断禁止アイコン（P76）：

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはロックされています	SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P16)
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから（P72）消去をしてください。
消去できない画像があります / この画像は消去できません	DCF 規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P25）してください。
設定枚数をこえました	[複数消去]、[お気に入り]、[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[リサイズ] の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。 お気に入り設定が 999 枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は [タイトル編集]、[文字焼き込み]、[プリント設定] ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています / メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合（一括コピー）、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました / 画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ● コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合（カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ） ● DCF 規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマット（P25）し直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないファイル形式です。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P25）し直してください。
電源を入れ直してください / システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。 それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードエラー カードのパラメータが異常です	本機に対応したカードをお使いください。(P16) 4 GB 以上のメモリーカードは SDHC メモリーカードのみ使用できます。
メモリーカードエラー カードを確認してください	● カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ● miniSD カード /microSD カード /microSDHC カードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ● 別のカードを入れてお試しください。
リードエラー / ライトエラー カードを確認してください	● データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を [OFF] にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を [ON] にして記録または読み込みしてください。 ● カードが破壊されている可能性があります。 ● 別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	[画質設定] を [WVGA] または [VGA] に設定している場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 「10 MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下していますので、バックアップをとりフォーマット(P25)することをおすすめします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。(P75) パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P25)してください。
4:3TV 用で出力します / 16:9TV 用で出力します	● 本機に AV ケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET] を押してください。 ● [TV 画面タイプ] を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P24) ● USB 接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。USB 接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P74、76)
プリンタービジー プリンターを確認してください	プリンター側が印刷できない状態です。 プリンターを確認してください。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P86 ～ 91）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**セットアップメニューの [設定リセット]（P24）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ 電池、電源について

Q（質問）	A（回答）
電池残量がいっぱいなのにすぐに電源が切れる。	● 消耗した電池を使用した場合や、電池の銘柄や使用温度によって電池残量が正しく表示されないことがあります。
新しい電池を入れても電池残量が少ない。	
電源を [ON] にしても動作しない。	● 電池が正しい向きに入っていません。（P15） ● 電池が消耗しています。
電源を [ON] にしているのに、液晶モニターが消灯している。	● [エコモード] の [自動液晶 OFF]（P23）が働いていませんか？ → シャッターボタンを半押しして、解除してください。 ● 電池が消耗しています。
電源を [ON] にしてもすぐに切れる。	● 電池が消耗しています。 ● 電源を入れたまま放置していると電池は消耗します。 → [エコモード]（P23）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	● 撮影 / 再生切換スイッチは [ ] の位置になっていますか？（P19） ● 内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ → 不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P34）
撮影した画像が白っぽい。	● レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 → 汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒（P12）を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した画像の周囲が暗くなる。	● W 端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？ → 少しズームしてから撮影してください。（P31）
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→ 露出が正しく補正されているか確認してください。（P41）
1 回の撮影で、2 ～ 3 枚の画像が撮れるときがある。	→ シーンモード [高速連写]（P46）以外のモードにする、または撮影メニューの [連写]（P57）を [OFF] に設定してください。

■ 撮影について（つづき）

Q（質問）	A（回答）
ピントが合わない。	● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 → 被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ● ピントが合う範囲から外れています。（P26、29、39） ● 手ブレや被写体ブレしています。（P30）
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→ 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。（P26） → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー（P40）を使って撮影してください。
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	● ISO 感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時は、ISO 感度が [i.AUTO] に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます） → ISO 感度を低くしてください。（P55） → [カラーモード] を [ナチュラル] に設定してください。（P58） → 明るい場所で撮影してください。 ● シーンモードの [高感度] または [高速連写] に設定していませんか？高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	● 蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじ（スミア）が出る。	● CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。 ● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。
動画撮影が途中で止まる。	● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 → [画質設定] を [WVGA] または [VGA] に設定している場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 →「10 MB/s」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下していますので、バックアップをとりフォーマット（P25）することをおすすめします。 ● マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色がつく。	● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■ 液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
電源 [ON] 中に、液晶モニターが消える。	● しばらく操作しないと、[エコモード] により [パワーセーブ] または [自動液晶 OFF] が働きます。（P23） ● シャッター半押し時に液晶モニターが消える場合は、電池が消耗しています。
使用中に液晶モニターがときどき暗くなる。	● フラッシュ充電中です。効率的に充電を行うために液晶モニターを暗くしています。次のとき、暗くなる場合があります。 ・フラッシュ撮影の後 ・電源スイッチを [ON] にした直後 ・撮影モードを切り換えた直後 ・ズームをしたり、カメラを暗い方に向けたとき 充電が終わると液晶モニターが再点灯し、撮影可能状態に戻ります。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	● この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ● ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	● 電源周波数が 50 Hz の地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎる。	● [パワーLCD] または [ハイアングル] になっていませんか？（P22）
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	● これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	● 暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。
液晶モニターにゆがみが出る。	● 液晶モニターに指で押したりして圧力をかけると、画面のゆがみ（ムラ）が出ますが、故障ではありません。

■ フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	● [⊘] に設定していませんか？ → フラッシュモードを変更してください。（P36） ● 撮影メニューの [連写]（P57）を設定しているときは、フラッシュは使用できません。 ● シーンモードによってはフラッシュを使用できない場合があります。（P37）
フラッシュが2回発光する。	● 赤目軽減（P36）にしている場合は、2 回発光します。

■ 再生について

Q（質問）	A（回答）
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	● [回転表示]（P69）を [ON] に設定しています。
再生できない。	● 撮影 / 再生切換スイッチは [▶] の位置になっていますか？（P19） ● 内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ → カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ● パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
撮影した画像が表示されない。	● [お気に入り再生] になっていませんか？ → [通常再生] に設定してください。（P19）
フォルダー・ファイル番号が [ー] で表示されたり、画面が黒くなる。	● 規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ ● 撮影直後に電池を取り出したり、残量が少なくなった電池で撮影していませんか？ → このような画像を消去するには、フォーマット（P25）してください。（他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください）
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	● [時計設定] を正しい日時に設定していますか？（P18） ● パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
画面に「サムネイル表示」と表示される。	● 他機で撮影された静止画ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
動画に「カチッ」という音が録音される	● 動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。

Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

■テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	● 正しく接続されていますか？ → テレビの入力切換を外部入力にしてください。 → 本機の [ビデオ出力] を [NTSC] に設定してください。（P24）
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	● テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	● カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ → AV ケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P62、80）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→ 本機の [TV 画面タイプ] を確認してください。（P24）
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか？ ● パソコンが本機を認識していますか？ → 接続時に [PC] モードを選択してください。（P74）
パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	→ USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● 正しく接続されていますか？ ● PictBridge に対応していないプリンターではプリントできません。 → 接続時に [PictBridge(PTP)] モードを選択してください。（P76）
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） → 16：9 のサイズの画像をプリントする場合は、事前にお店にお尋ねください。

■ その他

Q（質問）	A（回答）
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	● 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光ランプ（P59）が赤く点灯します。
AF 補助光が点灯しない。	● 撮影メニューの [AF 補助光] を [ON] に設定していますか？（P59） ● 明るい場所では AF 補助光は点灯しません。
本機や電池が熱くなる。	● ご使用中の本機表面や、長時間ご使用直後の電池が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	● ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	● 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください（P18）。時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00] の日付が記録されます。
ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	● 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。
ズームの動きが一瞬止まる。	● EX 光学ズーム時、W 端付近ではズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	● 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。（P75）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	● 電源を [OFF] にせず電池を出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を [ON] にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
月齢 / 年齢が正しく表示されない。	● 時計設定(P18)または誕生日設定(P45)を確認してください。
レンズ鏡筒が収納される。	● 撮影モードから再生モードに切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
放置していたら、突然デモが表示される。	● これは本機の特長を紹介する自動デモです。ボタンを押すと、元の画面に戻ることができます。

使用上のお願い

本機について

本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ハンドストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電池や AC アダプター（別売）（P81）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、電池または DC カプラー（別売）（P81）を取り出しておく。
乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 液晶モニターが汚れたときは、市販のブロワーブラシでほこりやごみを吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やメガネふきなどで軽くこすってください。

液晶モニターについて

● 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり､故障の原因になります。
● ボールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
● 液晶モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
● 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

● レンズ面を強く押さないでください。
● レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

電池について

長期間使用しないときは、必ず電池を取り出す

● 入れたままにしておくと、電源が [OFF] であっても絶えず微少電流が流れているため、電池が放電します。
● 極端な低温・高温下や多湿の場所では、端子がさびたりして故障の原因となります。
● 涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 :40%～ 60%）
● 幼児やお子様の手が届く範囲に放置しないでください。

落としたりぶつけたりするなど、大きな衝撃を与えない

● 電池を落としたときは、端子部が変形していないか確認してください。
● 液もれ、変形、変色、その他異常に気付いたときは使用しないでください。
万一、液もれが発生したときは、電池挿入部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池または満充電されたニッケル水素電池を入れてください。

乾いたきれいな状態で使用する

● 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
● 極に皮脂などの汚れがあると、撮影 / 再生時間が極端に短くなる場合があります。電池を入れる前に極を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。

被覆をはがしたり、傷をつけたりしない

● 市販されている電池の中には、被覆の一部またはすべてが覆われていない電池がありますので、絶対に使用しないでください。また、(−) 極が平らな電池も使用しないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

使用上のお願い（つづき）

出かけるときは予備の電池を準備する

- スキー場など寒冷地では撮影できる時間が短くなります。
  低温時（10 ℃以下）は電池の性能が低下し、撮影 / 再生時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池使用時は､ポケットの中などで温めてから使用してください。このとき、ライターなどの金属類やカイロに直接電池が触れないようお気をつけください。常温に戻ると回復します。
- 電池の銘柄や製造日からの保存期間・保存状態によって、性能が大きく異なる場合があります。
- 使用温度や使用条件によっては、誤動作を起こしたり、電池残量が正しく表示されずに電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。
- 一度使い切った電池は、しばらく放置すると性能が回復することがありますが、またすぐに使えなくなりますので、必ず新しい電池と交換してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ただし、取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。

- 極に汚れがあると正常に充電できない場合があります。極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- 被覆をはがしたり、傷を付けないでください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります。（メモリー効果）
  メモリー効果が発生したときは、撮影または再生できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下します。そのままにしておくと過放電になり、充電しても電池が使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、電池残量がなくなったあと本機から取り外して再保管することをおすすめします。
- ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて、電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われます。新しい電池をお買い求めください。
- お使いの充電器の説明書もお読みください。

不要になった電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない
- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

赤ちゃんモードで名前または誕生日を設定した場合は、撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項
- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P24）
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー（P73）をし、その後内蔵メモリーをフォーマット（P25）してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

譲渡 / 廃棄時は個人情報を必ず消去してください
- 個人情報保護の為、本機を譲渡 / 廃棄する際は、設定を必ずリセットしてください。（P24）

メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、上記の「メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。

使用上のお願い（つづき）

長期間使用しないときは

- 電池とカードは必ず本機から取り出してください。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、電池が取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- DC カプラー（別売）（P81）接続時、三脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDHC ロゴは商標です。
- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

● 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
● 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数（静止画：枚）

記録画素数		4:3 8M (8M) (3264 × 2448)		4:3 5M EZ (5M EZ) (2560 × 1920)		4:3 3M EZ (3M EZ) (2048 × 1536)		3:2 7M (7M) (3264 × 2176)		3:2 2.5M EZ (2.5M EZ) (2048 × 1360)	
クオリティ											
内蔵メモリー (約 50 MB)		12	25	20	40	32	62	13	28	36	69
カード	32 MB	6	14	11	23	18	36	7	16	20	40
	64 MB	14	30	24	48	38	75	16	33	43	83
	128 MB	30	61	50	99	78	150	34	69	88	165
	256 MB	61	120	98	190	150	290	68	135	170	330
	512 MB	120	240	195	380	300	590	135	260	340	650
	1 GB	240	480	390	770	600	1180	270	530	680	1310
	2 GB	490	970	790	1530	1220	2360	550	1070	1360	2560
	4 GB	970	1910	1560	3010	2410	4640	1080	2110	2680	5020
	6 GB	1470	2910	2380	4580	3660	7050	1650	3210	4070	7640
	8 GB	1980	3890	3180	6130	4910	9440	2210	4300	5450	10230
	12 GB	2980	5880	4810	9260	7400	14240	3330	6490	8230	15430
	16 GB	3980	7840	6410	12350	9880	19000	4450	8660	10980	20590
	32 GB	7990	15730	12870	24780	19820	38120	8930	17390	22020	41300

記録画素数		16:9 6M (6M) (3264 × 1840)		16:9 2M EZ (2M EZ) (1920 × 1080)	
クオリティ					
内蔵メモリー (約 50 MB)		16	33	47	91
カード	32 MB	9	19	27	53
	64 MB	19	40	57	105
	128 MB	41	81	115	220
	256 MB	80	155	220	430
	512 MB	160	310	450	860
	1 GB	320	630	900	1720
	2 GB	650	1270	1800	3410
	4 GB	1280	2510	3540	6700
	6 GB	1950	3820	5390	10190
	8 GB	2610	5110	7220	13640
	12 GB	3940	7710	10890	20580
	16 GB	5250	10290	14530	27450
	32 GB	10540	20650	29150	55070

■ 記録可能時間（動画撮影時）

画質設定		WVGA (848 × 480 30 fps)	VGA (640 × 480 30 fps)	QVGA (320 × 240 30 fps)
内蔵メモリー (約 50 MB)		–	–	1 分 37 秒
カード	32 MB	16 秒	17 秒	56 秒
	64 MB	37 秒	39 秒	1 分 58 秒
	128 MB	1 分 18 秒	1 分 22 秒	4 分 00 秒
	256 MB	2 分 35 秒	2 分 40 秒	7 分 50 秒
	512 MB	5 分 10 秒	5 分 20 秒	15 分 40 秒
	1 GB	10 分 20 秒	10 分 50 秒	31 分 20 秒
	2 GB	21 分 20 秒	22 分 10 秒	1 時間 4 分
	4 GB	41 分 50 秒	43 分 40 秒	2 時間 5 分
	6 GB	57 分 00 秒	1 時間 6 分	3 時間 11 分
	8 GB	1 時間 25 分	1 時間 28 分	4 時間 15 分
	12 GB	1 時間 55 分	2 時間 14 分	6 時間 26 分
	16 GB	2 時間 52 分	2 時間 59 分	8 時間 35 分
	32 GB	5 時間 45 分	5 時間 59 分	17 時間 13 分

※ 動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。
画面には、2 GB で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数･時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- シーンモードの [高感度]、[高速連写] では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。

仕様

電源	DC 3.0 V
消費電力	1.2 W（撮影時） 0.6 W（再生時）

カメラ有効画素数	810 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD　総画素数 832 万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学 4 倍ズーム　f=5.5 mm ～ 22 mm（35 mm フィルムカメラ換算：33 mm ～ 132 mm）/F2.8 ～ F5.9
デジタルズーム	最大 4 倍
EX 光学ズーム	最大 6.4 倍
フォーカス	通常 / マクロ / 顔認識 /9 点 /1 点
撮影可能範囲	通常：50 cm ～∞ マクロ / インテリジェントオート： 5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞ シーンモード：上記撮影可能範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	[WVGA] 848 × 480 画素（30 コマ / 秒、カード使用時のみ）/ [VGA] 640 × 480 画素（30 コマ / 秒、カード使用時のみ）/ [QVGA] 320 × 240 画素（30 コマ / 秒） 音声付き
連写撮影：連写速度 **連写枚数**	3 コマ / 秒（通常）、約 2 コマ / 秒（フリー連写） 最大 7 コマ（スタンダード）、最大 4 コマ（ファイン）、 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
高速連写：連写速度 **連写枚数**	約 4.5 コマ / 秒 記録画素数：4:3 3M / 3:2 2.5M / 16:9 2M 内蔵メモリー使用時：約 10 枚（フォーマット直後） カード使用時：最大 100 枚（カードの種類、撮影条件によって異なる）
ISO 感度	i.AUTO/80/100/200/400/800/1600 シーンモードの [高感度]：1600 ～ 6400
シャッタースピード	8 秒～ 1/2000 秒 シーンモードの [星空]：15 秒、30 秒、60 秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / セットモード
露出	プログラム AE、露出補正 （1/3 EV ステップ、－ 2 EV ～＋ 2 EV）
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	2.5 型 TFT 液晶（約 23 万ドット）（視野率約 100%）

フラッシュ	撮影可能範囲：約 30 cm ～約 5.9 m（W 端、[i.AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制発光）/（赤目軽減スローシンクロ）/ 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約50 MB)/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード / マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 静止画 動画	 [4:3 8M] 3264 × 2448 画素 /[4:3 5M] 2560 × 1920 画素 / [4:3 3M] 2048 × 1536 画素 /[3:2 7M] 3264 × 2176 画素 / [3:2 2.5M] 2048 × 1360 画素 /[16:9 6M] 3264 × 1840 画素 / [16:9 2M] 1920 × 1080 画素 [WVGA] 848 × 480 画素 (カード使用時のみ)、 [VGA] 640 × 480 画素 (カード使用時のみ)、 [QVGA] 320 × 240 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 動画	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）/DPOF 対応 QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
インターフェース デジタル アナログビデオ / オーディオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 AV OUT/DIGITAL DC IN	 兼用ジャック（8pin） タイプ 1 ジャック（DC カプラー使用時）
寸法	約 幅 96.7 mm × 高さ 62.0 mm × 奥行き 29.8 mm （突起部除く）
質量	約 128 g（本体） 約 176 g（カード、電池含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%
言語切換	なし（日本語のみ）

Q&A その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-LS85
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

Q&A その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

地域	住所	電話番号
青森	青森市大字浜田 字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川 字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目 1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目 1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目 51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広 5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東区東明 1丁目8-14	☎ (025)286-0180

中部地区

地域	住所	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目 1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目 14	☎ (0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田 7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目 82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町 字山神421	☎ (059)254-5520

近畿地区

地域	住所	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4	☎ (075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目 2丁目15-5	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町 800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4	☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 天草市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1919-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん

Q&A その他

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！	
■撮りかたのコツや新製品情報	http://panasonic.jp
■サポート情報	http://panasonic.jp/support/
■便利なLUMIX修理サービス	http://lumix.jp/repair/

QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される Apple Inc. の商標または登録商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-LS85
販売店名	☎（　　）		

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

H1208HM1128